

# 文京区アカデミー推進計画 素案(案)

平成27年10月



「はじめに」がはいます。

# 目次

<b>第一章 計画の趣旨</b> .....	<b>1</b>
1. 計画策定の背景と経緯 .....	1
2. 計画の目的 .....	2
3. 計画の位置づけ .....	2
4. 計画期間 .....	3
5. 計画の構成 .....	3
<b>第二章 計画の考え方</b> .....	<b>4</b>
1. 基本理念 .....	4
2. 4つの共通目標:環境・人・つながり・価値 .....	4
共通目標1 環境形成:充実した時間を過ごせる環境形成 .....	5
共通目標2 人づくり:豊かな暮らしを支える人づくり .....	5
共通目標3 つながりの構築:活動を通じた多様なつながりの構築 .....	5
共通目標4 価値の協創:資源を活かした新たな価値の創造 .....	5
3. 計画の体系 .....	7
4. 各分野の目標と基本的な方向 .....	9
<b>第三章 5つの分野の施策</b> .....	<b>11</b>
1. 生涯学習 .....	11
(1) 施策体系 .....	11
(2) 現状と課題 .....	11
(3) 基本的な考え方 .....	12
(4) 生涯学習分野の目標と基本的な方向性 .....	13
2. スポーツ .....	23
(1) 施策体系 .....	23
(2) 現状と課題 .....	23
(3) 基本的な考え方 .....	25
(4) スポーツ分野の目標と基本的な方向性 .....	26
3. 文化芸術 .....	38
(1) 施策体系 .....	38
(2) 現状と課題 .....	38
(3) 基本的な考え方 .....	39
(4) 文化芸術分野の目標と基本的な方向性 .....	40
4. 観光 .....	38
(1) 施策体系 .....	50
(2) 現状と課題 .....	50
(3) 基本的な考え方 .....	51
(4) 観光分野の目標と基本的な方向性 .....	52

- 5. 国際交流..... エラー! ブックマークが定義されていません。
  - (1) 施策体系 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
  - (2) 現状と課題 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
  - (3) 基本的な考え方 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
  - (4) 国際交流分野の目標と基本的方向. エラー! ブックマークが定義されていません。

**第四章 横断的施策 ..... 63**

- 1. 情報の収集・共有・発信 ..... 71
- 2. 協働する人材の育成 ..... 73
- 3. 東京オリンピック・パラリンピック ..... 76

**第五章 計画の推進体制と評価の考え方 ..... 79**

- 1. 計画の推進体制 ..... 79
- 2. 評価の考え方とPDCA サイクル ..... 80

# 第一章 計画の趣旨

## 1. 計画策定の背景と経緯

「文京区アカデミー推進計画(以下、「アカデミー推進計画」)」の前身は、平成4年に策定された「文京区生涯学習基本構想」です。そこでは、本計画の基本理念にもつながる「文京区全域を生涯学習のキャンパスに」という考え方を示しました。その後、「文京アカデミー構想」(平成17年策定)を経て、現在の「アカデミー推進計画」に至ります。

「文京アカデミー構想」では、生涯学習にとどまらず、文化芸術やスポーツ、さらには「文化施策」という観点から観光や国際交流との連携も視野に入れていました。そして、施策領域を横断することから、平成18年に生涯学習・スポーツ・文化芸術を教育委員会から区長部局に移管し、その後、平成21年に生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光・国際交流の5つの分野の施策を管轄するアカデミー推進部を組織しました。

その後、「文京区基本構想」(平成22年度)の策定を機に、アカデミー推進部が所管する新たな計画として「アカデミー推進計画(第一次)」を平成23年に策定しました。

「アカデミー推進計画」(第一次)では、「区内まるごとキャンパスに —「文の京」、豊かな学びと交流を楽しむまち—」を理念として、生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光・国際交流の分野ごとに過去5年間にわたり多様な事業を展開してきました。

### 「アカデミー推進計画」策定の経緯

- 平成4年 「文京区生涯学習推進基本構想」策定～「文京区全域を生涯学習のキャンパスに」～
- 平成6年 「文京区生涯学習推進計画」策定
- 平成12年 「文京区生涯学習推進計画」第一次改定
- 平成17年 「文京区生涯学習推進計画」第二次改定
- 平成17年 「文京区基本構想」策定 (『文の京』の明日を創る)
- 平成17年 「文京アカデミー構想」策定～「区内まるごとキャンパスに」～
- 平成18年 生涯学習の所管を区長部局に移管・文京区アカデミー推進協議会設置
- 平成21年 アカデミー推進部発足
- 平成22年 「文京区基本構想」策定 (歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち『文の京』)
- 平成23年 「文京区アカデミー推進計画」策定～「区内まるごとキャンパスに「文の京」、豊かな学びと交流を楽しむまち」～

### 「文の京」とは

これまで、文京区は、「文教の府」といわれ、「文化の香り高いまち」をめざして発展してきました。これに寄せる区民の誇りと愛着を大切にしたいと考えます。そのうえで、区民と区が、時代の大きな変化に適応しつつ、可能性に富んだこの地を、新たな洗練と成熟の段階へとさらに発展させていく都市自治の姿を「文の京」と呼びます。

## 2. 計画の目的

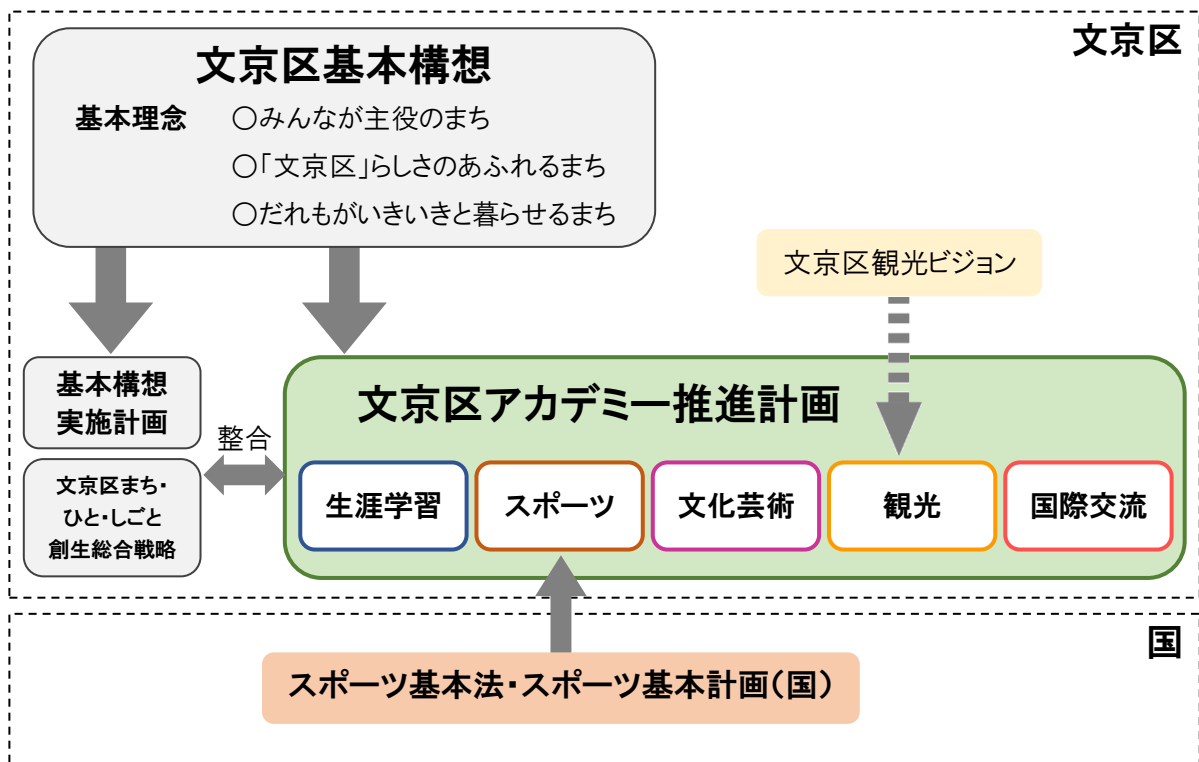
アカデミー推進計画は、区民はもとより、区内の大学や企業に通う人、さらには仕事や観光で訪れる人も含め、文京区で暮らし、過ごすあらゆる人たちが、学びや出会い、交流などの観点から豊かな時間を過ごし、うるおいのある暮らしを送ることができるようにするものです。

本計画が生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光・国際交流という5つの分野を包含していることは、それぞれにおいて豊かな時間を提供するとともに、相互に連携することで、個々の分野にとどまることのない関心の広がりを受け止め、暮らしに奥行きを持たせることを目指しています。相互に関連する5つの分野を連携させ、横断的な見地から事業の展開を図っていきます。

## 3. 計画の位置づけ

「文京区基本構想」に基づき、将来都市像である「歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち『文の京』」を、生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光・国際交流分野の側面から実現するための事業計画です。

個別には、スポーツ分野に関しては、スポーツ基本法に基づいて地方自治体が策定するスポーツ振興基本計画に代わるものです。また、観光分野に関しては、平成21年8月に策定された「文京区観光ビジョン」を踏まえています。



## 4. 計画期間

計画の期間は、平成28年度から32年度までの5年間とします。

## 5. 計画の構成

本計画は、計画全体で目指すべき「基本理念」と「4つの共通目標」を定めます(第二章)。

それらの実現に向け、生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光・国際交流の各分野において、「分野別目標」を定め、「基本的な方向性」の下、5年間で取り組む「事業」「今後実施を検討する内容」を示します(第三章)。さらに、5つの分野を横断するテーマである情報の収集・共有・発信、協働する人材の育成、東京オリンピック・パラリンピックの3つを「横断的施策」として、それぞれのテーマごとに「事業」「今後実施を検討する内容」を再構成し、示します(第四章)。

最後に、本計画を推進するための庁内外の体制、そして本計画ならびに事業評価の考え方について説明します。(第五章)

### 第二章 計画の考え方(p.4)

基本理念

4つの共通目標

### 第三章 5つの分野の施策(p.11)

生涯学習  
(p.11)

スポーツ  
(p.23)

文化芸術  
(p.38)

観光  
(p.50)

国際交流  
(p.63)

情報の収集・共有・発信(p.72)

協働する人材の育成(p.74)

東京オリンピック・パラリンピック(p.77)

### 第四章 横断的施策(p.72)

### 第五章 計画の推進体制と評価の考え方(p.80)



## 第二章 計画の考え方

### 1. 基本理念

#### 区内まるごとキャンパスに —「ふみ みやこ文の京」、豊かな学びと交流を生み出すまち—

本区には、日本の近世、近代の教育において大きな役割を果たした昌平坂学問所、そして「アカデミー推進計画」の名称の由来でもある19の大学をはじめとした教育施設・教育機関が数多く集積しています。また、森鷗外や夏目漱石、樋口一葉をはじめとする、近代文学を築いた多くの文人ゆかりの地であり、さらには特別名勝である小石川後樂園や六義園などの庭園、由緒ある寺社仏閣や近代建築も点在しています。その一方で本区は、響きの森文京公会堂(文京シビックホール)や生涯学習施設(アカデミー文京等)、文京ふるさと歴史館、森鷗外記念館などの文化・生涯学習施設はもとより、東京23区でも有数となる10箇所の区立図書館、そして文京スポーツセンターや小石川運動場など7つのスポーツ施設を屋内外に整備しています。

さらに、人材の観点からも大学、事業者、NPOなどで区民をはじめ多くの人たちが活躍しており、また、外国人居住者や様々な国から訪れている留学生の存在が特徴です。

このように多彩で豊かな文化資源・歴史資源・学習資源を有する環境を、区内で暮らし、過ごす人たちが自分のため、他人のため、地域のために有効に活用し、「いつでも・どこでも・だれでも」が学び、交流することを目指します。そして、それら学びと交流を通じ、多様な人たちがお互いに触発しながら、「ふみ みやこ文の京」として築いてきた価値を継承し、さらには新しい価値を創造することで新たな「ふみ みやこ文の京」を区民等とともに生み出すようなまち—「区内まるごとキャンパスに」—を実現します。

このような考え方から、前計画の基本理念「区内まるごとキャンパスに」を引き継ぎつつも、副題を「ふみ みやこ『文の京』、豊かな学びと交流を生み出すまち」と改定しました。

なお、本計画期間中には2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会(以下、東京オリンピック・パラリンピック)が開催されます。国や東京都、企業においては様々なビジョンが描かれており、本区においても、開催都市の一員として大会に向けた準備や気運醸成に取り組む必要があります。そして、将来の文京区ならびに区民にとって残すべき「レガシー(有益な遺産)」が何かを見極め、蓄積されてきた価値を活かしつつそれを磨き、後世に引き継ぐことが求められています。

今後5年間は、このような東京オリンピック・パラリンピックを含む外的な機会も活かしながら、区内で暮らし、学び、働く人たち、さらには区外から訪れて過ごすだれもが、生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光・国際交流を楽しみ、交流することを力強く推進し、「区内まるごとキャンパスに」—豊かな学びと交流を生み出すまち—を目指します。

## 2. 4つの共通目標:環境・人・つながり・価値

本計画では、アカデミー推進計画の下、5つの分野を通じて実現する共通目標を設定します。

ひとつは、「いつでも・どこでも・だれでも」が学び、交流するための**環境形成**であり、もうひとつは、その環境を活かす**人づくり**です。さらに、**人と人とのつながり**を生み出し、コミュニティを形成しながら、そこでの交流と学び合いを通じて**価値をともに生み出していくこと(協創)**を目指します。

### 共通目標1 環境形成:充実した時間を過ごせる環境形成

学びと交流を支える多様な文化資源・歴史資源・学習資源を結びつけることや新たな資源を収集することなどを通じて、学びと交流のための充実した環境をつくります。さらに、それら環境を有効活用し、分野を横断した学びと交流の機会を事業として提供するだけでなく、「いつでも・どこでも・だれでも」という観点に立ち、学びや交流の機会に日常的に触れられるようなまちづくりを進めます。

### 共通目標2 人づくり:豊かな暮らしを支える人材育成

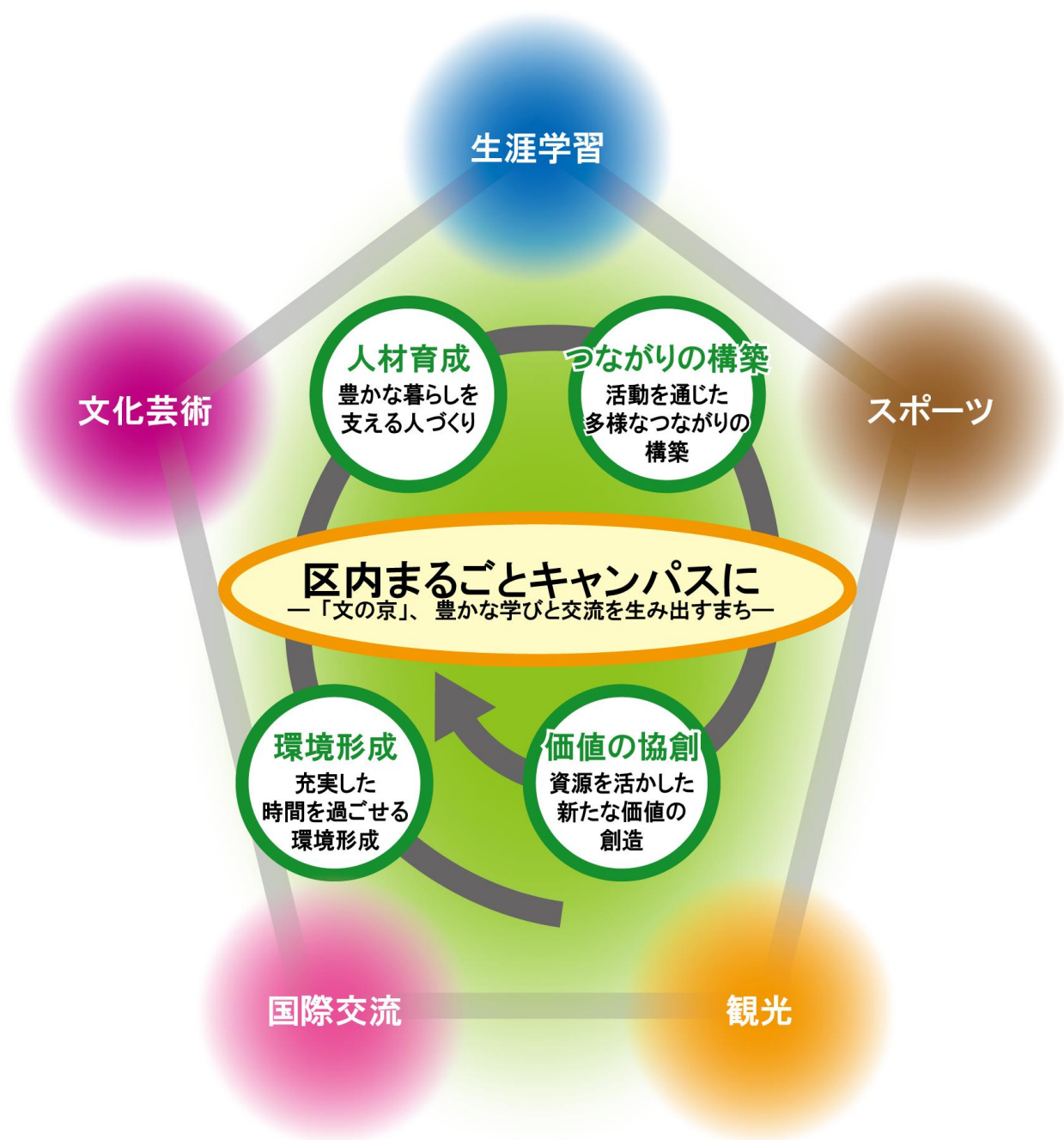
学び、交流するための環境とともに、その環境を活用し、自ら学び、交流しようとする人を増やすことが大切です。そのためにも、多彩な資源の魅力を高めつつ、それを広く周知することで、学びや交流の動機づけを行います。そして、自らの学びや交流にとどまらず、地域での学びや交流を支えるようになり、さらには交流を通じて学びを活かした協働へと展開することを目指します。

### 共通目標3 つながりの構築:活動を通じた多様なつながりの構築

学びと交流の先に、関心をともにする人たちや、地域でともに暮らす人たちのつながりを生み出し、そのつながりのなかで学びや交流がさらに展開することを目指します。同時に4つの目標を実現し、基本理念を実現するためにも、個々の区民やNPOなどの団体、企業や大学など、様々な主体の連携を図ります。そして、学び、交流する側も、それを支える側においても、つながりを構築することを進めます。

### 共通目標4 価値の協創:資源を活かした新たな価値の創造

学び・交流・協働のなかから、文京区の新たな資源が見い出され、文京区ならではの価値が生まれることを目指します。人が人をよび、活動が生まれ、その活動から新たな「文の京」となりうる価値が創造されるというプロセスをつくるための取組を進めます。そして、新しい価値がさらなる学びを生み出し、さらなる交流とつながりへと展開することで、「住んでみたい、住んでよかった、住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりに取り組みます



基本理念と4つの基本目標

### 3. 計画の体系

#### 基本理念と共通目標

区内まるごとキャンパスに — 「文の京」、豊かな学びと交流を生み出すまち —

#### 環境形成

充実した  
時間を過ごせる  
環境形成

#### 人材育成

豊かな暮らしを  
支える人づくり

#### つながりの構築

活動を通じた  
多様なつながりの  
構築

#### 価値の協創

資源を活かした  
新たな価値の  
創造

#### 5つの分野と横断的施策

生涯学習

スポーツ

文化芸術

観光

国際交流

いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実

一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実

学びの継続を通じたまちづくり

スポーツを身近に感じる機会の拡充

いつでも、どこでも、誰でも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進

スポーツ活動を支える環境の整備

スポーツを通じた仲間づくりと交流

だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり

文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援

「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり

観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出

情報の収集・活用による来訪の促進

持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり

国際理解を育む機会づくり

外国人が快適に過ごせる環境づくり

情報の収集・  
共有・発信

協働する  
人材の育成

東京オリンピック  
・パラリンピック

横断的施策

## 4. 各分野の目標と基本的な方向

分野	分野別の目標	基本的な方向
1 生涯学習	1. いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実	(1) 多様な講座や学習機会の提供・充実
		(2) 学習や活動ができる環境の提供
		(3) あらゆる立場の人たちに対応した学習支援の充実
		(4) 地域の学習拠点としての図書館づくり
	2. 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実	(1) 主体的な活動を支える仕組みづくり
		(2) 活動成果披露の場の充実
		(3) 人材育成・活用の推進
	3. 学びの継続を通じたまちづくり	(1) 学びを通じた交流・仲間づくりの推進
		(2) 地域で支える学習環境の充実
(3) 学び合いとまちづくりにつながる学習の促進		

分野	分野別の目標	基本的な方向
2 スポーツ	1. スポーツを身近に感じる機会の拡充	(1) スポーツの楽しさを知る機会の創出
		(2) スポーツ観戦の場と機会の拡充
		(3) プロスポーツ等団体との連携・協力
	2. いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進	(1) スポーツを楽しむ人を増やす
		(2) 多様なニーズに対応するプログラムの提供
		(3) スポーツをともに楽しむ意識の醸成
		(4) 障害者スポーツの普及振興
	3. スポーツ活動を支える環境の整備	(1) 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備
		(2) スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化
		(3) スポーツボランティア等の活動支援
		(4) スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備
	4. スポーツを通じた仲間づくりと交流	(1) スポーツを通じた仲間づくり
		(2) スポーツを通じた交流

分野	分野別の目標	基本的な方向
3 文化芸術	1. だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり	(1) 文化芸術への興味や知識を高める
		(2) だれもが参加しやすい仕組みづくり
		(3) 多様な主体・媒体による情報提供の仕組みづくり
	2. 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援	(1) 観賞・参加・創造・発表の機会と場所の充実
		(2) 文化芸術活動をする人・団体への支援
		(3) 区民人材の育成と活動支援
	3. 「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり	(1) 地域の伝統や歴史に親しむ機会と場所の提供・充実
		(2) 「文の京」伝統文化を守り、伝える人材の育成と活動支援
		(3) 文化資源の再発見と保存・活用の推進
(4) 文化資源に関する情報収集・整理と発信		

分野	分野別の目標	基本的な方向
4 観光	1. 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出	(1) 文京区の魅力や個性につながる新たな資源の発掘
		(2) 「文の京」ならではの魅力向上・新たなストーリーの展開
		(3) 区内の回遊性を向上させる誘導の環境づくり
		(4) 文京区の魅力や個性を伝える仕組みづくり
	2. 情報の収集・活用による来訪の促進	(1) 区内外における文京区の観光ニーズの把握
		(2) 文京区の地域ブランド力向上
		(3) 効果的な双方向の観光情報発信
		(4) 活気ある交流の仕組みづくり
	3. 持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり	(1) 観光を通じた区内外のネットワーク環境の構築
		(2) 安全・安心で優しいまちを実現する環境づくりの推進
(3) 観光まちづくりにおけるホスピタリティの醸成		

分野	分野別の目標	基本的な方向
5 国際交流	1. 国際理解を育む機会づくり	(1) 交流の機会の拡充
		(2) 海外都市との交流の活性化
		(3) 国際理解に向けた情報の収集・発信・共有
	2. 外国人が快適に過ごせる環境づくり	(1) 区の資源を活用した、歴史文化等への理解の推進

# 第三章 5つの分野の施策

## 1. 生涯学習

### (1) 施策体系

分野別目標	基本的な方向性
1. いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実	(1) 多様な講座や学習機会の提供・充実
	(2) 学習や活動ができる環境の提供
	(3) あらゆる立場の人たちに対応した学習支援の充実
	(4) 地域の学習拠点としての図書館づくり
2. 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実	(1) 主体的な活動を支える仕組みづくり
	(2) 活動成果披露の場の充実
	(3) 人材育成・活用の推進
3. 学びの継続を通じたまちづくり	(1) 学びを通じた交流・仲間づくりの推進
	(2) 地域で支える学習環境の充実
	(3) 学び合いとまちづくりにつながる学習の促進

### (2) 現状と課題

本区ではこれまで、区民の日々の生活に関わる学びの講座、資格取得やキャリアアップを支援する講座など、各種講座の充実を通して生涯学習の場や機会の充実に取り組んできました。また、地域に根差した生涯学習の実現を目指し、区民から企画を募集して実施する「区民プロデュース講座」や、区内にある19の大学や様々な企業と協働し、特色ある学びの機会となる文京アカデミア講座<sup>1</sup>を開講するなど、いつでも、どこでも、だれでも様々な学習や活動ができるよう、場や機会の充実に取り組んできました。これらの講座や講演会などの事業は、主に生涯学習施設の指定管理者である公益財団法人文京アカデミー（以下、(公財)文京アカデミー）が担っています。

実態調査では、この1年くらい間に約4割の人が生涯学習に取り組んでいるなかで、ほぼ同じ程度の割合で、生涯学習に関心を持ちながらも参加できなかった人がいることがわかりました。その大半が、仕事や学業、家庭などで忙しいという理由であったことから、学習や活動を行うための時間をとることができていないと推察されます。働き盛りの世代や子育て世代などの学習への意欲に応える事業が求められます。

また、本区では、生涯学習の成果を活かす仕組みとして文の京生涯学習司<sup>ふみ みやこ</sup>や文の京地域文化インタープリターという独自の資格制度を設け、その人材育成、活動の場や機会の

<sup>1</sup>文京アカデミア講座：区内の大学や区民、区内企業と連携した特色のある講座。講座内容は、地域、文学、芸術、語学などがある。



提供に取り組んできました。その結果、少なくない区民が生涯学習司や地域文化インタープリターとして活躍しており、区の生涯学習事業の推進に不可欠な存在となっています。

一方、実態調査では、生涯学習で得た知識を地域や他人のために活かしたいと思いつつも機会がないという方が少なくないことがわかりました。知識や経験を有し、活動への意欲を持った区民の存在を踏まえ、区民が活躍できる機会をつくることが求められます。それとともに、活動に踏み切ることに躊躇することもあると考えられることから、学びと活動の接続に着目し、学んだ成果を活かすまでのプロセスを段階的に踏むための仕組みづくりが必要です。

そのためには、人と活動を結ぶことなどが求められますが、学びを通じた交流や仲間づくりのなかでお互いに学び合う機会をつくることも大切です。その学び合いのなかで、自分自身の学んだ成果を活かす経験が、ひいては地域に学習成果を還元することへとつながっていくものと考えられます。あらゆる立場の人たちがいつでも、どこでも、だれでも生涯学習に取り組み、それを通じて絶えず人と人、人と地域の間が繋がるとともに、学び(インプット)と活動(アウトプット)が相乗効果を持つことによってまちの魅力が向上していくものと期待されます。

### 〈今後に向けた課題〉

- より広い層の区民が講座に参加できるように、わかりやすい情報提供が求められています。
- 学習から活動までスムーズに接続する仕組みづくりが求められています
- 学ぶ人たちからなるコミュニティを形成し、多様な知識・能力を持った人を活用する仕組みづくりが求められています
- 地域の情報収集・共有・発信を通じて生涯学習を支援する施設として、図書館と連携する取組が求められています

## (3)基本的な考え方

---

生涯学習は、一人ひとりの充実感や生活の向上のために自ら学ぼうとする営みであるとともに、地域における交流や関心をともにする人たちとの仲間づくりのなかで、お互いに知識を交換し、学び合う活動でもあります。

さらに、生涯学習は、学び合いを通じて関心を広め、知識を深めるなかで、その知識を活かしたまちづくり活動へと展開する可能性があります。そして、その活動を通じてさらなる学びや交流が生まれ、それをまた活動へと還元するというサイクルへとつながるものです。この学びと交流、活動の循環を生み出し、文京区のまちづくりへと接続するための取組を進めます。

## (4)生涯学習分野の目標と基本的な方向性

### 1. いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実

本区では、これまで多くの大学等の教育機関と連携し、多様な生涯学習の機会の提供・充実を図るとともに、だれもが学習・活動をしやすい環境づくりに取り組んできました。「文教の府」とも呼ばれている区内の貴重な学習資源を活用し、多様化する区民にニーズに対応した、より質の高い学習や活動の機会を提供・充実していくことは、今後の生涯学習の推進にあたり重要です。

そのためには、これまで以上に生涯学習講座等の充実を図る必要があります。図書館等の区民の身近な教育・文化施設と連携し、ライフスタイルや障害の有無など区民一人ひとりの状況に応じて、いつでも、だれもが自分にあった学習や活動の場を選択できる機会の充実を図ります。

#### ① 多様な講座や学習機会の提供・充実

- ・区民の多様なニーズに対応した生涯学習講座の提供に取り組みます。
- ・様々な分野の内容を学べる講座を提供するとともに、大学・企業等と連携し、専門分野を深める講座の提供にも取り組みます。

### ■事業

事業名	概要
文京アカデミア講座	区民の学習を支援するため、地域、文学、歴史・社会、自然科学、芸術、くらし、語学、健康・スポーツなどバラエティに富んだ講座を提供します。 民間教育業者や大学に委託したもの、自主企画講座のほか、パソコン講座、魚のおろし方教室などがあります。
文京いきいきアカデミア講座(旧高齢者大学)	2年制。1年次は教養課程で共通科目を履修し、2年次の専門課程に進みます。専門課程は、共通科目8講座と各自選択の文京アカデミア講座を合わせて20回以上の受講をもって卒業認定とします。
企業連携講座(メセナ講演会)	企業等から、ビジネスやマネジメントをはじめとした多様な講座の企画・提案を募り、協力・連携して実施します。
大学プロデュース特別公開講座	大学の持つ高度で専門的な学習機能や人材を活用した事業として、大学プロデュース特別公開講座(大学学長の講演会)を実施します。

### ■今後実施を検討する内容

- ・学習機会としてのサークル活動の充実を支援する事業

## ② 学習や活動ができる環境の提供

- ・区内の教育・文化施設の利便性と利用者サービスの向上に取り組み、区民の学習や活動の機会の多様化を図ります。
- ・区内の教育・文化施設や大学等の教育機関と連携し、区民が自分にあった学習や活動の場を選択できる環境を提供します。

### ■事業

事業名	概要
大学連携による各種事業	区民ニーズに合った生涯学習機会を提供するため、大学と連携した事業を展開します。
大学施設開放(大学図書館)	大学が所有する文化芸術や体育施設等の施設を区民に開放するよう、要請していきます。
学習資料の貸出	学習や地域活動に必要な視聴覚学習資料を地域の幼稚園、小・中学校、社会教育登録団体、個人等に貸出しを行います。
施設予約ネットシステム	利用者サービス及び操作性向上の機能を持った予約ネットシステムの活用により施設利用者へのさらなる利便性の向上及び業務・施設管理等の事務管理等の事務処理の一層の効率化を図ります。

### ■今後実施を検討する内容

- ・大学や民間施設の生涯学習の場としての更なる活用

### ③ あらゆる立場の人たちに対応した学習支援の充実

- ・ライフスタイルや障害の有無など、区民一人ひとりの状況に応じた学習環境の提供に取り組めます。
- ・インターネット等を活用した学習環境や情報提供を進めるとともに、施設予約ネットシステムの利便性の向上に取り組めます。
- ・区民の主体的な学びを支援するために、相談体制の充実を図ります。

#### ■事業

事業名	概要
保育室の設置及び手話通訳者の配置	幼児を持つ親が学習活動に参加できるよう、講座・講演会等の開催時に保育室を設置します。 障害者が講座・講演会等に参加できるよう、希望者に手話通訳者を配置します。
e-ラーニング	外出困難な方や高齢者などのほか時間に制約のある方などを対象に、時間や場所に関係なくインターネットを活用し、各種講座等の受講ができるように講座を配信します。
夜間・休日の講座開設	平日の昼間に講座を受講することが困難な方のために、平日夜間や休日にも講座を開設します。
学校施設の活用（余裕教室の社会教育的利用、夜間管理の分離）	区立小・中学校の講堂・屋内運動場・格技室・教室・校庭を地域の団体等に開放します。
生涯学習の相談	区民がそれぞれのニーズや目的に応じて生涯学習に取り組めるよう総合的に紹介等を行います。

#### ■今後実施を検討する内容

- ・生涯学習情報の収集・発信の強化

#### ④ 地域の学習拠点としての図書館づくり

- ・図書館を地域の情報収集・発信の拠点とするための取組を推進します。
- ・区民のニーズやライフスタイルに対応した質の高いサービスを提供し、図書館の利用満足度を向上させる取組を推進します。
- ・図書館のレファレンスサービスの周知、サービス向上に取り組めます。

事業名	概要
図書館での各種事業	IT図書館システム(図書館オンラインシステム)の運営や文の <sup>ふみ</sup> 京 <sup>みやこ</sup> デジタル文庫の公開等の各種事業を通じて、利用者サービスを向上させ、区民の読書活動の推進を図ります。

#### ■今後実施を検討する内容

- ・図書館において講座や活動を紹介する(レファレンス)事業

## 2. 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実

生涯学習は個人の豊かな学びとともに、身近な問題の解決を図るなど、学習の成果を活かすことも大切です。これまで本区では、生涯学習司や地域文化インタープリター等による講座、企画展、区民プロデュース講座など、学習成果を活かす仕組みづくりとその人材育成に積極的に取り組んできました。

今後は区民一人ひとりの状況に応じて、より多くの区民が主体的に学習の成果を活かすことのできる機会の充実を図ります。個人の学習から成果を活かす取組までの継続的な仕組みを整えることで、だれもが気軽に学習の成果を活かすことができるような仕組みづくりと人材育成を推進していきます。

### ① 主体的な活動を支える仕組みづくり

- ・区民同士の主体的な学びと活動の場として、個人やNPO等団体が生涯学習講座の企画運営に関わる取組の充実を図ります。
- ・区民の主体的な学びから成果を活かす活動までの接続を推進します。
- ・社会教育団体やサークルによる区民の主体的な活動を支援します。

### ■事業

事業名	概要
社会教育登録団体登録制度による活動支援	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援します。
サークル連絡会の支援	文京区生涯学習サークル連絡会によって実施される公開講座、合同学習会、史跡・施設見学等の各種自主学習活動への支援を行います。
区民プロデュース講座	区民の学習成果を活かし、地域に根差した生涯学習を推進するため、個人・NPO等団体が企画運営する講座を公募して実施します。

## ② 活動成果披露の場の充実

- ・学習の成果を披露できる場の充実を図ります。
- ・自身の活動と成果が地域に還元できる機会の充実を図ります。
- ・生涯学習講座修了者が交流できる機会の充実を図り、活動成果を披露する場への接続まで支援します。

### ■事業

事業名	概要
生涯学習体験フェア	文京アカデミア講座の紹介とともに、区内大学生涯学習センターや区内サークルの活動紹介、ステージ会場での活動発表等を行います。(年2回実施)
区民プロデュース講座	再掲

### ■今後実施を検討する内容

- ・地域アカデミーを活用した成果発表の場の整備

### ③ 人材育成・活用の推進

- ・生涯学習司、地域文化インタプリターの資格制度や活動の周知を図るとともに、資格取得者の交流を促進し、区民同士の連携を深める場づくりを推進します。
- ・生涯学習活動に貢献する人の活動機会の充実を図るとともに、スキルアップの取組を推進し、生涯学習活動団体の運営者のための相談など、団体運営の支援の充実を図ります。

#### ■事業

事業名	概要
区民プロデュース講座に対する相談	区民プロデュース講座企画者の負担を軽減し、企画を支援するための取組を実施します。
人材育成のための講座開催	区・公益財団等と協働して事業を行う人材を育成するため、「文 <small>ふみ</small> の京 <small>みやこ</small> 生涯学習司」、「文 <small>ふみ</small> の京 <small>みやこ</small> 地域文化インタプリター」「文京アカデミアサポーター」の3つの養成講座を実施します。
各種講座・展示会の企画実施への登用	インタプリターや生涯学習司等の人材を活用し、区の文化事業に活かしていく事業(企画展等)を展開して行きます。

#### ■今後実施を検討する内容

- ・生涯学習司・インタプリターの活動の周知



### 3. 学びの継続を通じたまちづくり

生涯学習を通じて区民の豊かな生活をサポートするためには、継続的な学びとその成果を活かす場づくりとともに、それらの接続を支援していくことが重要です。そのためには、個々の学習や活動を活かし、コミュニティのなかで互いに学び合い、他の世代、他の地域との交流、ひいては区を超えた交流の足がかりとなる機会を充実していくことが大切です。

また、区民が主体的に学び合い、活動や交流を行うことで知識や経験が人と人、人と地域の間で循環します。区民の学びや活動を継続的に支援し知識や経験の循環を促進していくことは、地域への愛着と誇りを育み、「文教の府」といわれた文化の香り高いまちづくりへと寄与することへとつながります。このような視点から、生涯学習とまちづくりの相乗効果をうながす取組を推進していきます。

#### ① 学びを通じた交流・仲間づくりの推進

- ・関心を共有する人たちがともに学び合う仲間づくりの機会の充実を図ります。さらに、あらゆる立場の人たちが交流する機会の充実を図ります。
- ・テーマ型コミュニティという視点から、地域を超えた区民同士の交流を支援していきます。

#### ■事業

事業名	概要
生涯学習1日体験フェア	生涯学習講座受講相談の実施やサークルの活動紹介、体験コーナー等を通じて、区民同士の交流の機会の充実を図ります。
サークル活動の広報(地域アカデミー)	アカデミー文京・地域アカデミー等において、各団体の活動内容等を記載した社会教育関係団体名簿の閲覧ができます。
ふれあいサロン	地域活動センターにおいて、幅広い年代の区民が参加する各種イベントや様々な教室を開催し、生きがいづくりや区民間の交流の支援、地域のさらなる活性化を目指します。

#### ■今後実施を検討する内容

- ・サークル活動の広報等の充実
- ・コミュニティづくり・地域づくりのワークショップ

## ② 地域で支える学習環境の充実

- ・地域アカデミーや図書館で情報を収集・発信・共有する機能の向上に取り組めます。
- ・身近な課題を地域で解決するための拠点として地域アカデミーや図書館での区民の活動を支援します。
- ・大学等の教育機関と連携し、区民の主体的な学習や活動を支援する取組を推進します。

### ■事業

事業名	概要
図書館での情報発信	子どもの読書活動の重要性や意識について広く理解を得るために、ホームページ上に子ども・中高生向けのページを設置し、情報を発信します。

### ■今後実施を検討する内容

- ・区民講師制度の充実

### ③ 学び合いとまちづくりにつながる学習の促進

- ・区民や生涯学習団体等が相互に連携を図り、学習成果を活かし学び合う機会の充実を図ります。
- ・地域の歴史や伝統文化の継承に寄与する学習を促進し、学びの成果を地域に還元する取組を推進します。

#### ■事業

事業名	概要
文京お届け講座（行政職員が地域の団体の要望に応じて講師を務める）	区民の自主的な学習活動を支援するとともに、職員が住民のなかに入り職務に関する話をするすることで、職員の意識改革と住民との協働関係の醸成を図ります。
「文京学」講座（文京区の歴史・文化・自然を学び、これからの地域文化を考える講座）	文京アカデミア講座、文京いきいきアカデミアのなかで地域に関する講座を作り、地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供します。
区民プロデュース講座	再掲

#### ■今後実施を検討する内容

- ・区民講師制度の充実

## 2. スポーツ

### (1) 施策体系

分野別目標	基本的な方向性
1. スポーツを身近に感じる 機会の拡充	(1) スポーツの楽しさを知る機会の創出
	(2) スポーツ観戦の場と機会の拡充
	(3) プロスポーツ等団体との連携・協力
2. いつでも、どこでも、だれでも 気軽に楽しめるスポーツ 活動の促進	(1) スポーツを楽しむ人を増やす
	(2) 多様なニーズに対応するプログラムの提供
	(3) スポーツをともに楽しむ意識の醸成
	(4) 障害者スポーツの普及振興
3. スポーツ活動を支える環 境の整備	(1) 気軽にスポーツを楽しむ環境の整備
	(2) スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化
	(3) スポーツボランティア等の活動支援
	(4) スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備
4. スポーツを通じた仲間づく りと交流	(1) スポーツを通じた仲間づくり
	(2) スポーツを通じた交流

### (2) 現状と課題

平成23年にスポーツ基本法が施行され、スポーツに関する基本理念をはじめ、国や地方公共団体の責務・スポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項が定められました。文京区では、こうした背景や地域の実情等を踏まえ、「する」「観る」「支える」の3つの柱を中心に、スポーツ活動を通じて区民をつなぐ「交流」の視点を取り入れ、新たな時代のスポーツ推進に向けた様々な取組を通じて、より一層区民がスポーツを楽しみ、豊かで健やかな暮らしを送ることのできるまちづくりを進めていく必要があります。

さて、区はこれまで、江戸川橋体育館の整備や新文京総合体育館の建設等を行い、区民の誰もが安全で快適な利用しやすい施設整備を進めてきました。現在、本区には、文京総合体育館・文京スポーツセンター・江戸川橋体育館の3つの体育館のほか、小石川運動場・六義公園運動場・後楽公園少年野球場、竹早テニスコートの4つの屋外施設、合わせて7つの区立スポーツ施設があり、これらの施設は、指定管理者制度により管理・運営しています。

これらの施設利用者は年間約100万人となり、近年、増加傾向にあります。また、区立小・中学校の体育館や校庭等を活用し、夜間・休日に開放する「スポーツ交流ひろば」では、年間3万人を超える利用があります。

また、本区ではこれまで、各競技種目の区民スポーツ大会のほか、健康・体力づくり事業、初心者・親子向けなどの各種スポーツ教室を実施するとともに、指導員を配置した屋内スポーツ施設の個人開放など、個々の技術向上や興味、目的に応じたスポーツの機会を提供し

てきました。実態調査によると、区民の約4割が週に1～3日以上の頻度でスポーツを行っており、その理由として「健康維持・体力向上のため」「運動不足解消のため」「友人や仲間との交流のため」といった回答が多く挙げられています。

引き続き、より多くの区民がスポーツを行うことができる環境づくりが求められている一方で、区立スポーツ施設の利用者数も年々増加してきており、また、新たな施設の整備も容易ではありません。そのため、施設におけるスポーツ活動に限定せず、自宅や公園など身近な場所でスポーツに親しむなど、スポーツの敷居を下げるような柔軟な考え方も取り入れることが必要となります。さらに、年齢・体力やライフスタイル、障害の有無など、区民の状況にきめ細かく対応した環境を整えるとともに、魅力あるスポーツ事業を実施し、また、そうした情報を広く発信するなど、スポーツに関心を持つきっかけづくり等の裾野を広げる取組が求められています。

一方、スポーツの観戦については、区内に日本サッカー協会、講道館、読売巨人軍の本拠地である東京ドーム等の著名なスポーツ団体や施設があり、恵まれた環境にあるといえます。このような環境を活かし、区ではこれまで、プロスポーツ等団体の試合観戦や選手との交流等を通じたスポーツの普及・振興に係る協働事業に取り組んできました。また、新たにパブリックビューイングを試み、区民が身近にスポーツを感じる取組として、観戦の機会の充実に取り組んできました。

東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、スポーツ観戦の様々な取組を進めるとともに、区内のアマチュアスポーツの観戦など、スポーツをより身近に感じ、観て応援することで、草の根レベルでスポーツに触れる機会を提供していくことも求められているといえます。

スポーツを支える取組については、各種競技団体が加盟した文京区体育協会のほか、区民と行政を結ぶコーディネーターの役割を担うスポーツ推進委員、スポーツの実技指導を行うスポーツリーダー、区内スポーツ団体の指導者がスポーツ振興に寄与する活躍をしています。本区では、これらのスポーツ指導者を対象に、講習会を開催し、指導者等の資質向上に取り組んできました。また、27年度からは、区の生涯スポーツ及びレクリエーションの振興を推進するため、支えるスポーツとして、スポーツボランティアを養成し、活躍の場の提供をはじめました。

今後は、地域やコミュニティ単位でスポーツに親しむきっかけづくりが期待されることから、若手指導者や新たに指導者としてスポーツに取り組む人材の登用といった指導者の裾野の拡大に取り組むとともに、区民のニーズに対応した指導者を育成することが求められています。また、民間事業者等と協働し、スポーツを通じたコミュニティづくりの視点から、区民のスポーツ活動を支える環境を充実していくことも求められています。

また、個々のスポーツ活動をつなぐとともに、人と人、地域と地域の交流といったスポーツの魅力を活かす「仲間づくり・交流」という視点で施策を展開することが求められています。「する」「観る」「支える」それぞれの活動を充実するとともに、スポーツを通して区民の生活

をより豊かなものとするための様々な取組を実施していくことが大切です。その中で東京オリンピック・パラリンピックの開催は、スポーツに対する機運醸成のひとつの契機と捉えられます。この機会に新たな競技スポーツへの関心や障害者スポーツへの理解を促進することは、今後のスポーツ推進に期待されていることといえます。

### 〈今後に向けた課題〉

- 年齢・体力やライフスタイル、障害の有無など、区民の状況にきめ細かく対応したスポーツ活動の環境・機会の整備が求められています。
- 既存のスポーツ施設の活用に加え、新たなスポーツ活動の場や機会を創出することが求められています。
- 気軽にスポーツを観戦できるきっかけづくり・仕組みづくりが求められています。
- 指導者やボランティアなどスポーツを支える活動への関わり方を広げることが大切です。
- 「する」「観る」「支える」全般にわたり、わかりやすい情報発信が求められています。
- 地域スポーツ、生涯スポーツの普及・発展のため、自主的な活動を行うスポーツ団体の育成を図ることが求められています。

## (3)基本的な考え方

---

スポーツは、心身の健康の保持・増進だけでなく、人と人、地域と地域の交流を促進するなど、人たちが健康で豊かな生活を送るために大きな効果をもたらします。

本計画において「スポーツ」とは、一定のルールが定められた競技スポーツだけでなく、区民の年齢、性別、障害の有無や体力等に応じた健康づくりのほか、仲間同士の交流やストレス解消等を目的としたウォーキングやレクリエーション等の気軽に楽しむことのできる活動などもスポーツと捉え、その効果を発揮するための取組を進めていきます。

このように、スポーツという概念や活動を広く捉え、スポーツを「する」人だけでなく、プロスポーツ等団体やアスリートによる競技種目等を「みる」人、指導者やスポーツボランティア等の「支える」人、そして、スポーツを通じた仲間づくりといったスポーツの持つ力に着目し、区民の生活がより健康で豊かなものとなる取組を進めていきます。

## (4)スポーツ分野の目標と基本的な方向性

### 1. スポーツを身近に感じる機会の拡充

区民が日常生活のなかでスポーツに触れるきっかけの多くは、スポーツを「観る」ことにあります。新たに取り組んできたパブリックビューイング等は、スポーツを観ることでスポーツを身近に感じるきっかけの一つとなっているといえます。

今後より多くの区民がスポーツを行い健康で豊かな生活を送るためには、「観る」ことをきっかけとして、気軽にスポーツに取り組むまでの一連の流れを踏まえた支援が重要だと考えます。そのために、区民や地域のスポーツ団体、プロスポーツ等団体と連携・協働し、運動やスポーツに距離のある人がスポーツに取り組むためのきっかけづくりの機会を充実させていきます。

#### ① スポーツの楽しさを知る機会の創出

- ・年齢や技術に関わらず多くの区民がスポーツの楽しさを知る機会をつくります。
- ・気軽にスポーツに取り組むことができる初心者向けスポーツ教室等を実施し、スポーツを始めるきっかけづくりの機会を創出します。
- ・子どもたちがスポーツに興味をもち、始めるきっかけや継続するための取組を推進します。

#### ■事業

事業名	概要
初心者向けスポーツ教室	区民の健康維持増進及びスポーツを続けるきっかけづくりの機会として、区民が気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催します。
小・中学生向けスポーツ教室	子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、水泳、スキー、ローラースポーツ等をはじめとした各種スポーツ教室を開催します。
親子向けスポーツ教室	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみを持つきっかけづくりの機会とするため、親子スポーツ教室を開催します。
体育の日事業	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の区民が、スポーツの楽しさを知り自らの健康の維持・増進を図るきっかけをつくるため、体育の日事業を開催します。

## ② スポーツ観戦の機会の拡充

- ・区民同士や地域のスポーツ団体、大学、企業等と連携し、身近な環境でスポーツを観戦する機会をつくり、一体となってスポーツを観戦・応援する楽しさを伝えます。
- ・プロスポーツ等団体と連携・協働し、競技スポーツの試合観戦の魅力を伝え、観戦機会の拡充に取り組みます。

### ■事業

事業名	概要
スポーツ・パブリックビューイング	区民ひろばやシビックホールなどで、ワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックなどのパブリックビューイングを開催し、皆で観戦する楽しさを共有します。
読売巨人軍との協定に基づく事業の実施	読売巨人軍との協定に基づき、観戦事業のほか、選手との触れ合いの場や走り方、投げ方教室等の各種事業を展開します。
文京LBレディース支援事業	地域の大学や企業との連携により設立した女子サッカーチーム「文京LBレディース」の活動を支援し、区民等が身近なチームの試合観戦を通じて、地域で応援できる環境を整えます。

### ■今後実施を検討する内容

- ・ケーブルテレビ等を活用した試合中継の実施



### ③ プロスポーツ等団体との連携・協力

- ・プロスポーツ等団体と連携・協働し、アスリートと区民が交流することでスポーツの魅力を知り、スポーツに関心を持つきっかけづくりに取り組みます。
- ・区内に拠点を持つスポーツ等団体と協働し、区の魅力となるスポーツ資源として、地元への愛着を育むための取組を実施します。

#### ■事業

事業名	概要
日本サッカー協会との協定に基づく事業の実施	スポーツをより身近なものとするため、日本サッカー協会との協定に基づき、サッカー教室等をはじめ、各種事業を展開します。
講道館との協力に基づく事業の実施	講道館との協力により、スポーツの機会を拡大するため、講習会等、各種事業を展開します。
地域のスポーツ団体等との連携による事業展開	区内に拠点を持つスポーツ団体や大学等との協力・連携により、スポーツ体験教室や大会等を実施します。
読売巨人軍との協定に基づく観戦事業の実施	再掲

#### ■今後実施を検討する内容

- ・複数の区内プロスポーツ団体の協働による事業の開発

## 2. いつでも、どこでも、だれもが気軽に楽しめるスポーツ活動の促進

区内には文京区体育協会の加盟団体のほか、区民が主体的にスポーツを楽しむために自主的な活動を行うスポーツ団体が数多くあります。

また、スポーツという概念や活動を広く捉え、区民の日常生活における様々な場面でスポーツを楽しむ機会を充実していくことを第一に考えます。より多くの区民がいつでも、どこでも、だれでもスポーツに触れられる環境を整えるために、スポーツに関心を持つきっかけづくりの機会を増やすとともに、区民の様々なニーズに応じた教室や企画を充実させ、人と人との交流を通してスポーツを楽しむ意識を醸成していく取組を進めていきます。さらに、障害者スポーツについては、情報発信と普及振興を促進し、障害のある人とない人の相互理解と交流の機会を充実していきます。

### ① スポーツを楽しむ人を増やす

- ・スポーツに関わる団体や事業者等が連携し、区民が主体的にスポーツを楽しむことができるよう支援します。
- ・多様なニーズやライフスタイルに応じた教室や企画を提供し、スポーツを楽しむ区民が増えるよう推進します。

### ■事業

事業名	概要
地域スポーツ団体の支援・育成	地域・生涯スポーツの普及・発展のため、各種区民大会や教室事業等の開催を委託し、自主的なスポーツ活動を行う団体を育成します。
スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、曜日や種目を設定した上で、地域の指導員の指導のもと、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。
個人利用のためのスポーツ施設の開放と指導員によるアドバイス	水泳、卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、ビーチボール、合気道、弓道、アーチェリー、柔道、剣道、ミニテニスなどの種目について、指導員を配置し、個人向けにスポーツ施設を開放します。
各種区民大会等の開催	区民の日頃のスポーツ活動の成果を試す機会のある場として、各種区民大会を開催します。
文京区表彰要綱に基づく顕彰事業	スポーツの分野で、全国規模又は東京都の競技大会等において、優秀な成績や優れた功績があった区内の選手に対し、表彰します。
初心者向けスポーツ教室	再掲

### ■今後実施を検討する内容

- ・民間事業者やPTA等との連携による事業の実施
- ・生涯学習・文化芸術・観光分野と連動したウォークラリーなどの事業の開発

### ② 多様なニーズに対応するプログラムの提供

- ・スポーツの技術的なレベルや実施場所、参加者のライフステージなどの多様なニーズに対応した事業を展開します。
- ・多様なニーズに対応することでいつでも、どこでも、だれもが気軽に楽しめるよう取組を推進します。

### ■事業

事業名	概要
アウトドアスポーツ事業	東京近郊での軽登山やノルディックウォーキング等の自然のなかで楽しめるスポーツ事業を実施します。
ジュニア・アスリート育成事業	区内大学及びプロスポーツ団体等との協働により、ジュニア選手を発掘、育成、強化し、スポーツ活動を通じて、心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図ります。
ニュースポーツ教室・大会の実施	障害の有無に関わらず一緒に楽しむことができるドッチビーやボッチャ等の各種ニュースポーツ教室や大会を実施します。
シニア向けスポーツ教室	水泳や体操などの種目や運動など、シニア世代がスポーツを楽しむことのできる教室を実施します。
着衣泳教室	海水浴や川遊びなど夏のレジャーシーズンを前に、水の事故に遭遇した際の自己対処法を学ぶため、着衣泳教室を実施します。
親子向けスポーツ教室	再掲

### ③ スポーツをともに楽しむ意識の醸成

- ・個人や区民同士にとどまらず施設や事業者等とも連携してまち全体でスポーツを楽しむ意識の醸成に取り組みます。
- ・スポーツを通して区民が一体となることのできる事業を推進します。
- ・区外に出て自然環境のなかでスポーツに取り組み、自然と共生する術を学ぶ取組を推進します。

#### ■事業

事業名	概要
スポーツ指導者地域派遣	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援します。
アウトドアスポーツ事業	再掲
ニュースポーツ教室・大会の実施	再掲

#### ■今後実施を検討する内容

- ・区が目玉となるスポーツの開発
- ・東京ドームを活用した事業

#### ④ 障害者スポーツの普及振興

- ・障害がある人もない人も一緒にスポーツをする機会を増やすことで、障害者のスポーツをする機会の充実を図り、健常者の障害者スポーツへの理解を育みます。
- ・これまでスポーツに関心がなかった障害者が、スポーツを楽しむきっかけづくりとなる事業の開催やスポーツ施設の利用の機会を充実します。

#### ■事業

事業名	概要
スポ・レクひろば	知的障害のある方を主な対象に各種スポーツ・レクリエーション活動を行い、楽しみながら体を動かすことを通して、仲間づくりの機会とスポーツへのきっかけづくりの場を提供します。
障害者のスポーツ施設利用促進事業	障害のある方に地域のスポーツ施設を気軽に利用していただけるよう、都立障害者スポーツセンター指導員とともに、個人での利用をサポートする事業を行います。
パラリンピアンと楽しむ障害者スポーツ事業	パラリンピアンを招き、ポッチャなどのだれもが楽しむことのできるスポーツ体験事業を開催します。
障害者スポーツ教室	障害のある方が気軽にスポーツ活動に参加できる機会とし、様々な障害者スポーツの種目を体験できる教室を開催します。
障害者スポーツ指導者資格取得の支援	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導者資格を取得するための費用の助成や活動の場についてサポートを行います。

#### ■今後実施を検討する内容

- ・障害のある方もない方も一緒に楽しめる事業の実施
  - ・パラリンピック気運醸成事業の開催
- 障害者スポーツへの理解を深めるため、パラリンピックの競技種目の国内大会の招聘や体験会やその他障害者スポーツの体験教室等を開催します。

### 3. スポーツ活動を支える環境の整備

スポーツ推進委員、スポーツリーダー、区内スポーツ団体の指導者のほか、区民同士でもボランティア等によりスポーツ活動を支え合い、地域やコミュニティ単位でスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組むことが重要です。

そのために、スポーツを指導する立場の区民については、講習会の開催、交流の場づくりを行うとともに、若手指導者やボランティアといった新たな人材が活動しやすい環境づくりを推進します。そのほか、民間事業者等と協働し、コミュニティづくりの視点から区民のスポーツ活動を支える環境づくりにも取り組みます。

また、区民が利用しやすいスポーツ施設の整備に取り組む一方で、施設に限定せず様々な場所で日常的にスポーツを行うことができるような取組も重要です。柔軟な考え方で新たなスポーツ環境の創出に取り組むとともに、多様なメディアを活用し、スポーツの魅力を発信することで、区民のスポーツ活動を支えていきます。

#### ① 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備

- ・区民のだれもが気軽に利用できる施設の整備、バリアフリー化に取り組みます。
- ・スポーツ施設に限らず様々な場所でスポーツを楽しむことができる環境の整備に取り組みます。

#### ■事業

事業名	概要
スポーツセンターの改修	老朽化したスポーツセンターを改修し、バリアフリー化を含め、だれもが安全で快適にスポーツを楽しむことできる環境を整備します。
スポーツ施設の整備と活用促進	区立スポーツ施設の快適な環境の整備をはじめ、区立学校施設の活用等によるスポーツ活動の場を整備します。
学校施設の活用（余裕教室の社会教育的利用、夜間管理の分離）	区立小・中学校の講堂・屋内運動場・格技室・教室・校庭を地域の団体等に開放します。また、区内大学の文化・体育施設等について、区民に開放するよう要請します。
スポーツ交流ひろばの充実	再掲

### ■今後実施を検討する内容

- ・六義公園運動場管理棟等の改築  
老朽化した施設を取り壊し、バリアフリー化や省エネルギー対策等の施された管理施設に建替えます。
- ・子どものためのグラウンド開放  
子どもがのびのびと自由に身体を動かしたり、あそぶための場を提供します。
- ・屋外スポーツ施設の再整備
- ・坂道を活用したウォーキングコースの開発
- ・区立公園等でスポーツを楽しめる空間の確保
- ・Wi-Fi環境の整備

### ② スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化

- ・スポーツ推進委員・スポーツリーダーの育成、確保に取り組むとともに、区民のニーズに適した人材配置など、指導者が活動しやすい仕組みづくりに取り組みます。

### ■事業

事業名	概要
スポーツ推進委員会活動への支援	スポーツ推進委員への研修会の実施や委託事業等を通じて、活動への支援を実施します。
スポーツ推進委員・スポーツリーダー等の委嘱	地域の生涯スポーツ・レクリエーション等の普及・振興及び区民の自主的なスポーツ活動を支援するため、スポーツ推進委員やスポーツリーダー等を委嘱します。
スポーツボランティアの養成	地域の生涯スポーツ・レクリエーションの振興を推進するため、支えるスポーツの担い手として、スポーツボランティアを登録・養成・派遣します。
スポーツ指導者派遣	自主的なスポーツ活動を行う区民の団体等へスポーツ指導者を派遣し、区民等のスポーツの競技力を向上させます。

### ③ スポーツボランティア等の活動支援

- ・スポーツ活動を支えるボランティアの育成、活動支援や組織間の連携を促進し、主体的にスポーツを支える区民を支援していきます。
- ・スポーツを主体的に支える区民が活動しやすい環境づくりに努めます。

#### ■事業

事業名	概要
スポーツボランティアの養成	地域の生涯スポーツ・レクリエーションの振興を推進するため、支えるスポーツの担い手として、スポーツボランティアを登録・養成・派遣します。
スポーツボランティア情報の発信	再掲

### ④ スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備

- ・区民のスポーツ活動を支えるために適切な情報発信と相談体制を整えます。
- ・区民のスポーツ活動を支えるため、世代ごとにメディアを使い分けるなど、多様な手段により情報発信を行います。

#### ■事業

事業名	概要
スポーツ交流ひろば通信の発行	スポーツ交流ひろばの指導者に向け、スポーツ振興に関する情報等を発信します。
地域スポーツ情報の提供	地域スポーツを普及・振興するため、各種教室や大会などの地域スポーツ情報を提供します。
各種メディアとの連携推進	区の魅力的なスポーツ事業等の取組を報道機関等をはじめ各種メディアにリリースし、広く内外へ発信します。
スポーツボランティア情報の発信	再掲

#### ■今後実施を検討する内容

- ・庁内関連部署との連携によるスポーツに関する情報一元化に向けた取組の検討



## 4. スポーツを通じたコミュニティづくり

スポーツを通じた仲間づくりや交流の機会は、人とのつながりを育む一つの重要な手段といえます。そして、スポーツを通じた人とのつながりのなかでマナーや相手を尊重する心を育むとともに、コミュニケーション能力、リーダーシップの向上といった精神面での成長をうながします。世代や地域をまたぎ、仲間と交流することで心身ともに豊かな生活を送ることは、生涯を通じたいきがいくつくりにつながるのだと考えます。

年齢、性別、障害の有無に関わらず、また、地域や区を超えた交流を通して仲間づくりに寄与するスポーツの推進に取り組み、区民の生活がより健康で豊かなものとなることを目指します。

### ① スポーツを通じた仲間づくり

- ・スポーツを通じて人と人とのつながりを育む取組を推進します。
- ・区民の主体的な活動を社会教育登録団体登録制度等を活用し、支援します。
- ・スポーツを通じて様々な区民が交流するコミュニティづくりの場として、地域スポーツクラブの育成、支援に取り組みます。

### ■事業

事業名	概要
社会教育登録団体登録制度による活動支援	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援します。
地域スポーツクラブの育成	地域のスポーツクラブを育成・支援するとともに、新たな地域スポーツクラブの可能性を探ります。
スポーツ交流ひろばの充実	再掲
スポーツボランティアの養成	再掲

### ■今後実施を検討する内容

- ・参加者同士が触れ合い、交流できるスポーツイベントの開発
- ・地域の交流に重点をおいた事業の開発

## ② スポーツを通じた交流

- ・スポーツを通じて親子の交流を深める取組を推進します。
- ・スポーツを通じて多世代の交流を深める取組を推進します。
- ・スポーツを通じて区内外の地域ごとの交流を深める取組を推進します。

### ■事業

事業名	概要
自治体交流ジュニアサッカー大会	スポーツ祭東京2013で、少年サッカー競技を開催した自治体等に協力を呼びかけ、各自治体と競技団体の協力により、各区の代表チームによるサッカー大会を開催し、広域的な交流をします。
カイザースラウテルン市長杯文京区少年サッカー大会	姉妹都市提携のカイザースラウテルン市が2006年のワールドカップドイツ大会で開催都市となったことを記念し、平成16年より大会を実施しています。
親子向けスポーツ教室	再掲
スポーツ交流ひろばの充実	再掲
ニュースポーツ教室・大会の実施	再掲

### ■今後実施を検討する内容

- ・東京ドームでの全国大会イベントの実施等のスポーツコミッション事業の開発

### 3. 文化芸術

#### (1) 施策体系

分野別目標	基本的な方向性
1. だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり	(1) 文化芸術への興味や知識を高める
	(2) だれもが参加しやすい仕組みづくり
	(3) 多様な主体・媒体による情報提供の仕組みづくり
2. 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援	(1) 観賞・参加・創造・発表の機会と場所の充実
	(2) 文化芸術活動をする人・団体への支援
	(3) 区民人材の育成と活動支援
3. 「文 <small>ふみ</small> の京 <small>みやこ</small> 」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり	(1) 地域の伝統や歴史に親しむ機会と場所の提供・充実
	(2) 「文 <small>ふみ</small> の京 <small>みやこ</small> 」伝統文化を守り、伝える人材の育成と活動支援
	(3) 文化資源の再発見と保存・活用の推進
	(4) 文化資源に関する情報収集・整理と発信

#### (2) 現状と課題

文京区には、小石川後樂園や六義園などの江戸の大名屋敷に由来する庭園、護国寺や根津神社などの由緒ある寺社、古くから名のついた坂道など、文化財や史跡が多く存在します。また森鷗外や夏目漱石、樋口一葉ら文学者が多く住み、この地において名作を生み出しました。このように本区は、区民が身近に歴史や文化を感じることができる良好な環境となっています。

また、文京ふるさと歴史館や、千駄木の旧居(観潮楼)跡に平成24年11月に開館した森鷗外記念館などの公共施設に加え、博物館、美術館、歴史的建造物などもあり、これらは「文ふみの京みやこミュージアムネットワーク」として連携しています。文京シビックホール、宝生能楽堂など、音楽や演劇、伝統芸能など、舞台芸術に関する催しが行われる施設もあります。一方、区内にある19の大学においても、多彩な文化芸術活動が行われています。

このように豊かな文化資源に囲まれ、施設面でも充実した環境を活かして、本区では区民が芸術文化に親しむことができる機会の充実を図ってきました。またこれらに関する様々な情報を収集し、区報やホームページ、指定管理者発行の情報誌などを通じて、広く情報を発信してきました。

具体的には「文ふみの京みやこゆかりの文化人顕彰事業」、著名なオーケストラ等との提携、展覧会、講座・講演会、史跡めぐりなど、様々な主体による文化芸術に関する事業を実施しています。実施にあたっては、指定管理者制度を活用し、ホール事業は(公財)文京アカデミーが担い、森鷗外記念館は民間事業者が運営しています。また活動や事業を担う人材として、区が育成した「文ふみの京みやこ地域文化インタープリター」や、「文京ふるさと歴史館友の会」などの市民団体との協働及び成果発表や活動の場の提供も行ってきました。

一方、実態調査では、過去1年間で何らかの文化芸術を鑑賞した人は約8割であり、映像作品、美術、音楽、舞台芸術、伝統芸能などの分野についての鑑賞を行っている人が多い

ことがわかりましたが、その頻度をみると、月に1回以上という区民は2割程度でした。また、創作活動については、過去1年間で何らかの活動をした区民は2割程度にとどまることがわかりました。また、文化芸術振興のあり方として、青少年の創造性や感性を育むことや、歴史や伝統に根ざした文化芸術の継承、発展への期待が大きいこともわかりました。

近年における文化芸術に関する動きとしては、平成24年度に施行された「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」(劇場法)、平成27年5月に閣議決定された「文化芸術の振興に関する基本的な方針(第4次基本方針)、東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの全国的な展開といったことが挙げられます。これらのことから、地方自治体における文化芸術振興は新たな局面を迎えており、子どもや若者に対する文化芸術振興、伝統文化の継承や、地域振興、国際理解への活用などが、今後の文化芸術振興の方向性として期待されているといえます。

こうした背景を受け、今後は恵まれた文化資源を活かし、区民が鑑賞や創造活動により取り組みやすい環境を整備していくことが求められます。そのためには区民のニーズを的確に捉え、参加しやすい講座やイベントの開催はもちろん、参画したい、成果を活かしたいという、より高度な要望にも対応することが必要です。また積極的な取組を行う区民や団体などへの支援や、発表・活躍の場を広く提供していくことも大切です。

さらに、区は、地域の歴史や伝統を将来に引き継いでいく責務があります。本区は、価値ある文化資源が再発見される可能性も秘めています。こうしたことから、文化資源を守り、再発見し、活用していくための事業や人材の育成も重要です。

そして、「文の京」<sup>ふみみやこ</sup>ならではの文化芸術を広くPRすることで、区に対する誇りや愛着につなげていくほか、観光分野と連携した取組の強化も必要となります。

### 〈今後に向けた課題〉

- より多くの区民が鑑賞、創造活動に関わるためのきっかけづくりや環境の整備、情報発信の充実が求められます。
- 区民の鑑賞、創造活動をより充実させるための多様な場や機会の充実が求められます。
- 地域の伝統文化に対する区民等の関心を高め、継承、活用につながる取組が必要です。

## (3)基本的な考え方

文化芸術は、個人の生活を豊かにし、生きがいを与えるだけではなく、異なる背景を持つ人同士の新たな交流を生み出す機会を生み出します。また、子どもや若者の健全育成や伝統文化に親しむ人が増えることを通じて、保存・継承などにも大きな効果をもたらします。

文京区には、文人ゆかりの地に代表される、文化芸術に親しむための恵まれた環境があります。こうした環境を活かし、文化芸術の持つ力を、様々な機会を通して区民が享受することができるよう、だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくりや、鑑賞・創造する活動に対する支援を行います。また、地域の伝統的な文化を将来に向けて継承し、まちの魅力として活用するための取組を進めていきます。

## (4)文化芸術分野の目標と基本的な方向性

### 1. だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり

文化芸術は、本来、すべての人に身近なものですが、一部の人だけの高尚な趣味とみなされることもあります。そこで、より多くの区民が、文化芸術に親しみ、鑑賞や創作活動への一歩を踏み出すきっかけづくりが大切です。

区民のだれもが、文化芸術に親しむことができる環境を整えていくため、興味や知識を高める講座や企画を充実させるとともに、子どもや若者をはじめ、様々な区民が文化芸術に触れるための機会の創出や仕組みづくりを進めます。また、多様な主体との連携や媒体を活用し、様々な情報に区民が触れる機会を増やしていきます。

#### ① 文化芸術への興味や知識を高める

- ・より多くの区民が、鑑賞や創作など、文化芸術活動に関わるきっかけづくりの場や機会を増やしていきます。
- ・これまで文化芸術にかかわる機会がなかった区民も興味を持ち、新たな知識を得ることができるよう、入門講座や体験型の企画を開催します。
- ・シビックホールをはじめとした文化施設などを活用し、多くの区民が様々な形で参加できるように、区全体での文化芸術イベントを開催していきます。
- ・子どもや若者が文化芸術に親しむことのできる環境づくりのため、出前コンサートの開催や、親子が一緒に体験する機会を設けていきます。

### ■事業

事業名	概要
文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊)企画展、区民能楽鑑賞会を実施します。
事業提携楽団によるコンサート	区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結ぶ、東京フィルハーモニー交響楽団及びシエナ・ウインド・オーケストラの協力により文化・芸術の振興を図ります。
小中学生のための出前コンサート	子どもたちが身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、東京フィルハーモニー交響楽団及びシエナ・ウインド・オーケストラとの提携事業の一環として、ミニ・オーケストラによる区立小中学校への出前コンサートを行います。
文 <small>ふみ</small> の京 <small>みやこ</small> コミュニティコンサート	区内文化施設等の雰囲気や特徴を活かしたミニ・コンサートを行い、クラシック音楽等を気軽に楽しむ機会を提供します。

事業名	概要
「文の京文化発信プロジェクト」	文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働(共催)により、特色を生かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。

#### ■今後実施を検討する内容

- ・区内高校・大学文化芸術系サークルの出前ワークショップ  
区内高校生や大学生が講師となり、文化芸術に関する出前ワークショップを行います。

## ② だれもが参加しやすい仕組みづくり

- ・区民一人ひとりの多様なニーズやライフスタイルに対応するため、講座やイベント等の開催時間や場所などについての配慮を行います。
- ・子どもや高齢者、障害者、来訪者、外国人など、多様な区民の特性を踏まえ、イベント等に参加しやすくするための配慮を行います。

#### ■事業

事業名	概要
小・中学生のための歴史教室	夏休み期間中にクイズイベントなどを実施し、参加することを契機として、歴史・文化についての興味や文京区への愛着を深めてもらいます。
文京ミュージアムフェスタ	区内にある博物館・美術館・庭園など36施設を結ぶ「文の京ミュージアムネットワーク(通称、文京ミュージアムネット)」の合同イベント。各施設が持つ文化的資産や歴史的資産を紹介します。
子ども俳句大会	区内中学校在学学生を対象に、日本の伝統的文化の一つである俳句を通して自然や四季、日本語の美しさ、俳句の楽しさを体験します。
サマーフェスタ for Kids	幼少期から親などと一緒に生のクラシック音楽等に触れる機会を提供します。
国際交流フェスタ	区内等の各主体の協力を得て、伝統文化体験や各国情報紹介、ステージや物販のあるフェスタを実施し、外国人と日本人の文化を通じた交流及び相互理解を図ります。

#### ■今後実施を検討する内容

- ・(仮称)「文の京」文化フェスタ  
文化芸術活動を一定期間の間に継続して行います。

### ③ 多様な主体・媒体による情報提供の仕組みづくり

- ・指定管理者、大学など、関係する機関が行っている事業なども含めて、区民の文化芸術活動に役立つ情報を幅広く収集します。
- ・収集した文化芸術関連情報は、区報やホームページ、指定管理者発行の情報誌などを活用し、より多くの区民に伝わるような工夫を行いながら発信していきます。
- ・文化芸術に関する情報の収集、発信にあたっては、ソーシャル・ネットワーキング・サービス<sup>2</sup>(以下、SNS)等の新しい媒体を活用するほか、区民等との連携を密にし、自主的な情報発信につなげていきます。

#### ■事業

事業名	概要
CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。
スクエアの発行	指定管理者発行の情報誌「スクエア」による文化芸術関連情報の提供をします。
ホームページ・SNS等による情報発信	区や指定管理者のホームページ・SNS等により生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を発信します。

#### ■今後実施を検討する内容

- ・CATV、大学と連動した「(仮称)文京まちあるき」の番組化  
区民レポーターを区や大学が協力して養成し、区内の文化芸術に関わる人物やイベントを取材し、区民の作成した番組としてCATVで放送するとともにWebでレポートします。

<sup>2</sup> ソーシャル・ネットワーキング・サービス:インターネット上の交流を通して社会的ネットワーク(ソーシャル・ネットワーク)を構築するサービスのこと

## 2. 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援

区民が行う鑑賞や創造活動について、その内容を充実させるための支援を行うことは、主体的な活動を活性化する上で重要です。

そのため、区民のニーズを捉えて企画内容の充実を図るほか、創造活動および成果を発表する場や機会の充実を図ります。

### ① 鑑賞・参加・創造・発表の機会と場所の充実

- ・区民が様々な分野の文化芸術を鑑賞する機会を提供していきます。ホールや展示会場に加えて、公共空間なども活用していきます。
- ・区民参加の機会や区民の創造活動を支援するため、文化祭や展示会など、成果を発表する機会を充実し、提供していきます。
- ・鑑賞と関連した学習機会の提供や体験型の企画を開催し、区民の活動の充実を図ります。
- ・事業者のメセナ活動や保有施設の開放の要請などを通じて、事業者との連携・協働を図っていきます。
- ・多岐にわたる文化芸術活動を推進するため、協定等を締結している他自治体との連携・協働も図っていきます。

### ■事業

事業名	概要
「アートウォール・シビック」への作品展示	若手芸術家の育成を図るため、シビックセンターの壁面を利用して平面美術作品の展示を行い、同時に区民が身近に芸術に触れる機会とします。
鼓童文化交流～「ぶんきょう交流公演」& ワークショップ	区と(公財)文京アカデミーが事業提携を結ぶ太鼓芸能集団鼓童の協力により、観客参加型の交流公演とワークショップを実施します。
朗読コンテスト	文化人顕彰事業の一環として行うもので、文京ゆかりの作家の作品を課題作として、朗読コンテストを行います。跡見学園女子大学との大学連携により実施します。

### ■今後実施を検討する内容

- ・ポスターコンクール

若手芸術家の発掘と文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊)の活性化を図ります。



## ② 文化芸術活動をする人・団体への支援

- ・主体的な活動を支援していくため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、使用料の減免や、活動場所の先行予約等のサポートをしていきます。
- ・文化芸術関連団体が相互に連携を図り、活動内容等の情報交換などを目的とする連絡会を通して、活動の活発化や連携した取組を支援していきます。
- ・文化芸術活動団体の活動の質を高めるため、指導者派遣制度の充実を検討します。

### ■事業

事業名	概要
シエナdeアン・コン！ ～アンサンブル・コンテスト～	一般公募した吹奏楽アンサンブル団体が演奏し、シエナ・ウインド・オーケストラ団員による審査・表彰等を行います。プロの講評を受けることで、その後の練習に役立ててもらいます。
楽器演奏指導	子どもたちの楽器演奏の技術向上及び文化芸術への関心を高めるため、事業提携を結ぶシエナ・ウインド・オーケストラ団員による演奏指導を行います。
社会教育団体の登録	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、要件を満たす団体を社会教育団体として登録しています。(5年ごとに更新時期を設けている)生涯学習施設、スポーツ施設、学校施設の優先利用と割引利用ができます。
サークル連絡会の支援	再掲

### ③ 区民人材の育成と活動支援

- ・指導者やコーディネーターとなる人材を育成、確保し、活かしていくための仕組みづくりを進めます。
- ・区内19大学との連携・協働による人材育成を進めるため、各大学の専門分野や得意分野を活かしたイベントや講座を実施していきます。

#### ■事業

事業名	概要
舞台芸術創造事業 (オペラ等)	区民を対象にオペラ等の公演を目標とする講習会を実施し、優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会を提供します。
舞台芸術創造事業 (その他)	区民を対象に演劇等の舞台技術を学ぶ機会を提供し、活動を通じて優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会を提供します。
シビックコンサート	クラシック・ポップス・ジャズなどの名曲を、管弦楽アンサンブルや声楽にのせて区内の大学及び専門学校生がお届けするランチタイムコンサートを実施します。
カレッジコンサート	教育機関が集中している文京区の特徴を生かし、区内の音楽文化の充実・発展や学生間の交流を目的に、区内の大学及び専門学校の音楽クラブ・サークルによるコンサートを実施します。
地域文化インタープリターの活動支援	地域文化の価値を理解するために必要な知識や技術を習得した文京区の文化資源の案内役を養成します。また、地域文化インタープリターの活動を支援します。

#### ■今後実施を検討する内容

- ・地域文化インタープリターによる出前講座  
地域文化インタープリターを活用し、区内小・中・高校で文化芸術に関する出前講座を行います。

### 3. 「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり

文京区には多くの文化資源が残されています。文化財、史跡、伝統文化などを、地域の魅力として認識していくことは、「文の京」ならではの文化を育み、未来に継承していくことにつながります。そのため、地域の文化資源に関する資料等の収集、保存に努めるとともに、守り伝える人材の育成や活動の支援を行います。さらには、潜在的な文化資源の再発見を進めるとともに、区内外の人たちに「文の京」の魅力を知ってもらう取組や観光分野との連携を進めていきます。

#### ① 地域の伝統や歴史に親しむ機会と場所の充実

- ・区民が地域の文化や伝統を知るために、区内に豊富にある文化資源を活用した史跡めぐりや講座などの機会の提供・充実を図ります。
- ・区民がより深く地域の歴史や文化に触れるため、ふるさと歴史館や森鷗外記念館をはじめ、「文の京ミュージアムネットワーク」加盟施設との連携をより一層図り、施設めぐりや座学を組み合わせたイベントなどを開催していきます。

#### ■事業

事業名	概要
史跡めぐり	地域の歴史・文化財をガイドの解説を聞きながら歩いて実見することにより、文京区の歴史・文化の普及・啓発を図ります。ふるさと歴史館友の会との協働事業として行います。
文の京ゆかりの文化人顕彰事業	本区に足跡を残した文化人を顕彰し、多様な文化的資源の継承、発掘及び情報発信を進めます。年度ごとに生誕没後などの記念の年にあたる文化人を中心に、朗読コンテスト、講演会等の顕彰事業を実施します。
文の京ワークショップ	「現代の観潮楼＝交流サロン」として、森鷗外を中心テーマに幅広い利用者をひきつける多彩な事業を展開します。持続的な集客を図るとともに鷗外や「文の京」を広く発信します。
新・観潮楼歌会	森鷗外を中心に多くの文人たちが集い、交流した「観潮楼歌会」にちなみ、幅広い文化・芸術体験事業を展開します。

#### ■今後実施を検討する内容

- ・文京区史編さん記念企画展  
文京区史編さん記念事業として実施します。区史の発行と併行し、新区史の章別展開に基づき、区史の内容を紹介します。
- ・平成「文の京」名所図会  
CATV、大学、ふるさと歴史館等が連携し、区民参加による名所発見と共有のためのワークショップを行います。

## ② 「<sup>ふみ</sup>文の<sup>みやこ</sup>京」の文化を守り、伝える人材の育成と活動支援

- ・文化や伝統を教え、継承していく人を育てていくための人材育成を行います。
- ・主体的な活動を支援し、その学習成果を活かしながら、歴史や文化を普及・継承する活動につなげます。
- ・伝統工芸を伝える人の育成を図っていくため、地域の人材を「文京区技能名匠者」として認定していきます。

### ■事業

事業名	概要
ふるさと歴史館友の会の支援	友の会の自主的な活動を支援し、地域の現状や歴史・文化を知るための学習機会の充実を図ります。協働による事業の実施や「文京まち案内」ボランティアガイドの活動支援を行います。
ふるさと歴史館常設展示解説ボランティア	解説ボランティアを養成し、来館者への案内を行うことにより、文京の歴史・文化の普及を図ります。ガイドのスキルアップを支援します。
森鷗外記念館解説ボランティア	解説ボランティアを養成し、自主的な活動を促進します。新たな活動を企画し、活動のブラッシュアップとともに、文京区の文学館としての機能強化を図ります。
技能意匠認定事業	ものづくりに携わっている技術者の社会的評価を高め、伝統技術、技法の維持向上と技術習得意欲の促進を図ります。技術者の地位向上と後継者を確保することにより、区内産業の振興及び発展を図ります。

### ■今後実施を検討する内容

- ・日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業  
東京オリンピック・パラリンピック開催の決定を踏まえ、伝統・文化に関する教育を推進します。日本の伝統文化について、講師の実演等を行い、日本の良さを発信することができる能力や態度を育成します。

### ③ 文化資源の再発見と保存・活用の推進

- ・歴史的建造物等の保存・活用に努めるとともに、その場所を生かしたイベントなどを開催するなど、地域の魅力としての周知を図ります。
- ・区内のまちなみや風景、地域の祭りなどを映像資料として残していくため、区民等が所有している映像資料を収集し、アーカイブ化していきます。
- ・平成29年3月に区制施行70周年を迎えるにあたり、記念事業として新たな「文京区史」および「写真集」の編さんを行います。

#### ■事業

事業名	概要
ふるさと歴史館特別展・収蔵品展	文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた特別展及び館蔵資料を中心とした収蔵品展を開催します。
鷗外記念館特別展・コレクション企画	森鷗外の作品や人生に関連することをテーマに、資料収集、調査研究した成果を、特別展及び館蔵品を中心としたコレクション企画として実施します。
映像資料調査・保存事業	貴重な映像資料を地域文化資産として後世へ継承するため、区民等から区内の過去の情景や風俗等が記録されている8mm・16mmフィルムを収集し、デジタル化による保存作業を行います。また、これらの映像資料を20分程度の映像作品として編集・加工し、BGMやナレーションを加えた上でDVD化します。
区史編さん事業	区制施行70周年を迎える平成29年の発行に向けて、区史(教育史を含む。)の編さん作業及び写真集の作成を行います。
歴史的建造物の活用	歴史的建造物(国登録有形文化財)であり、樋口一葉にもゆかりある旧伊勢屋質店について、所有者である跡見学園女子大学と協働して、公開事業を行います。
指定文化財等の保護・保存と管理 (文化遺産等の維持・保全と活用)	①国・都・区指定文化財を保護するためにその修理事業に対して補助金を交付するとともに区指定文化財に対して奨励金を交付します。 ②区指定文化財を調査・記録し、保護に努めます。 ③区内の文化財を広く区民に周知するとともに、区民の文化財に対する理解と認識をうながすため、文化財・坂道標示板の維持管理及び新設を行います。

#### ④ 文化資源に関する情報収集・整理と発信

- ・「文人ゆかりのまち」としての区の特徴を生かし、関連する情報を収集しつつ、新たな切り口を加えながら情報発信を行います。
- ・歴史的建造物や、能楽、江戸文化の伝承など、文京区の特徴的な文化資源についての情報を収集し、「文の京」の魅力として新たに発信していきます。

#### ■事業

事業名	概要
文の京ミュージアムネットワーク	区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」(文京ミューズネット)として連携し、各施設の特色や個性を発信します。
コンピューターによる館内閲覧システムの充実	ふるさと歴史館の館内閲覧システムにより、本区の豊富な文化遺産の情報を発信し、区民や研究者の調査・研究活動に資することを目指します。
ふるさと歴史館だより・年報の発行	文京の歴史・文化に関する情報や、歴史館の事業、調査研究成果等について周知します。
鷗外記念館ニュース・年報の発行	森鷗外や文学に関する情報、記念館の事業、調査研究成果等について周知します。

#### ■今後実施を検討する内容

- ・文京地域史の調査研究  
これまでの名所旧跡めぐり中心のルートではない、地域史を調査・発掘し、新たな視点でのルート開発を行います。
- ・隣接区と連携した文化資源マップの製作

## 4. 観光

### (1) 施策体系

分野別目標	基本的な方向性
1. 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出	(1) 文京区の魅力や個性につながる新たな資源の発掘
	(2) 「文の京」ならではの魅力向上・新たなストーリーの展開
	(3) 区内の回遊性を向上させる誘導の環境づくり
	(4) 文京区の魅力や個性を伝える仕組みづくり
2. 情報の収集・活用による来訪の促進	(1) 区内外における文京区の観光ニーズの把握
	(2) 文京区の地域ブランド力向上
	(3) 効果的な双方向の観光情報発信
	(4) 活気ある交流の仕組みづくり
3. 持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり	(1) 観光を通じた区内外のネットワーク環境の構築
	(2) 安全・安心で優しいまちを実現する環境づくりの推進
	(3) 観光まちづくりにおけるホスピタリティの醸成

### (2) 現状と課題

本区には、由緒ある神社仏閣や庭園、文人に関する史跡、小石川後樂園や六義園等の庭園、区内に点在する数多くの博物館・美術館など、全国的に見ても知名度の高い歴史的・文化的資源を数多く有しています。また、大学をはじめとした教育・研究機関のコンベンション、東京ドームにおける大規模イベントの開催などにより、国内外から多くの人が入り込むまちでもあります。

本区では、平成21年に「文京区観光ビジョン」を策定し、生活者・来訪者双方にとっての魅力的な地域を目指す観光まちづくりの方向性を示しました。前回のアカデミー推進計画では、同ビジョンを踏まえ、「まちあるき」を基軸とした観光資源の創出や環境づくり、観光まちづくりのための情報発信や人材育成と体制づくりに取り組むこととし、観光マップの充実、新たな観光ルートの開発、観光ガイドの充実、区のイメージアップにつながるロケ地撮影の誘致等、様々な観光施策に取り組んできました。また、花の五大まつり等の支援やタウンガイドミーティングの開催等を通して、関係団体・企業等との協力・連携を着実に進めてきました。

一方、東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、観光をとりまく環境は大きく変化しつつあります。国内外から東京を訪れる観光客は、これまで例がない程に増加することが予想されるため、観光振興や区内産業等の活性化のためにも、文京区により多くの観光客を呼び込むための取組が必要です。

実態調査では、観光振興に有効な資源として庭園や公園、史跡、文京区ゆかりの文人など、これまで本区が観光振興において活用してきたものと同様の資源が挙げられていました。その一方で、区が取り組むべきこととしては「文京区の埋もれた魅力の発見・活用」が最も多く選ばれてもいました。このことから、従来から文京区の魅力とされてきた歴史・文化にかか

わる資源にくわえ、文京区の新しいイメージにもつながる新たな観光資源の創出が求められていると言えます。また、区民にはない「外の目線」を取り入れた魅力の掘り起こしや、区民が「当たり前」だと思ふことも、魅力として再検証も大切と考えられます。また、観光客のみならず、大学や企業が集積する立地を活かし、仕事で訪れる人が区内を観光するための仕掛けにも当てはまります。

そのためにも、これまでの観光資源を大切にしながらも、新たな魅力や個性を見出し、磨き上げることでまちのブランド力を向上させるとともに、観光客のニーズや動線を把握し、効果的な情報発信や取組を行うことが求められます。そのためにも区のみならず、大学や企業、商業者などの様々な主体と連携して観光振興を図っていくことが必要です。

一方、区内の観光スポットは、その多くが住宅街に混在しているという特徴があります。そのため、区内の観光の振興は、住宅街を多くの観光客が訪れることにもつながり、地域住民への配慮も必要となってきます。実態調査でも、区の観光振興に対して、まちのイメージアップや活性化が期待されている一方で、住環境への影響を不安に思う人も多くいることがわかっています。住民の不安を和らげるためには、区と地域が連携し、観光客のマナー向上などに取り組むなど、観光と生活との調和を図ることが求められます。同時に、観光振興によって住民が得られるメリットを説明・理解してもらうための取組も必要です。その取組は、まちのホスピタリティの醸成や、観光客と住民の交流促進につながると考えられます。

### 〈今後に向けた課題〉

- 従来の文京区のイメージを高める観光資源はもとより、新たな魅力となりえる観光資源を見出し、魅力・個性として区内外に発信することが求められます。
- 観光客・来街者のニーズや動線を把握する等、区内外の観光ニーズを把握することで、効果的な取組を行うことで、区内での回遊・滞在をうながすことが必要です。
- 区のみならず、大学や企業、商業者などと連携しながら、「文ふみの京みやこ」というイメージを高め、新たな一面をくわえることでブランド力を向上させることが必要です。
- 観光まちづくりと住環境を両立させるとともに、住民が得られるメリットを明らかにし、理解を得ることで、観光客を受け入れる区民も含めた環境づくりが求められます。

### (3)基本的な考え方

観光振興には文化的側面と経済的側面があります。多くの場合、経済的側面が重視され、観光振興を通じて交流人口を増やすことで、地域経済の活性化や雇用の確保などが目的とされます。本区では、産業振興との連携を図りつつも、区の特徴である歴史的・文化的な資源の継承や、区民参画による観光まちづくりなどの文化的な側面を重視しています。

このような観光の位置づけを大切にしながら、今後予想される観光客の増加を見据え、区内産業と適切な連携を図りながら、持続可能な観光まちづくりを進めることが重要です。その取組は、区外から訪れる観光客が文京区というまちを楽しむとともに、区民がまちの魅力を再認識し、まちへの愛着を高めることにつながり、その結果、歴史的・文化的な資源の継承や観光への区民参画が実現されると考えます。



## (4)観光分野の目標と基本的な方向性

### 1. 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出

文京区には豊富な歴史的・文化的資源が数多くあります。それらを適切に保護し、区の魅力と個性として高め、発信していきます。それと同時に、新しい魅力・個性を見出し、観光資源として磨き上げることも大切です。そのためには、住民はもとより、若者や外国人も含め、個々人の目線で文京区の魅力を見出すための取組が必要です。

さらに、従来の文京区のイメージとは異なる資源も積極的に見出すことで、新たな「文ふみの京みやこ」につながる観光資源として打ち出す視点も求められます。

#### ① 文京区の魅力や個性につながる新たな資源の発掘

- ・区民が、自分たちの「地元の当たり前」を観光の視点で見直すことを通じて、地元の住民だからこそ知る物事を観光資源として見出しつつ、地元への愛着を育みます。
- ・若者や外国人などの「外の目線」を取り入れることで、地元の住民では魅力を見出しにくい観光資源の発掘に取り組みます。
- ・若い世代を主たるターゲットとした新たなイベントや観光資源の創出を行うことで、従来の文京区のイメージとは異なる、新たな「文ふみの京みやこ」を創出する価値を生み出します。

### ■事業

事業名	概要
観光ボランティアガイド事業	区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成し、まちあるきコースの開発と案内を行います。
観光写真コンクール	文京区観光協会において区内の名所・旧跡などの歴史文化遺産や花の五大まつりなどの風物詩、現代のまちの表情を広く紹介する観光写真コンクールを実施します。
新江戸川公園周辺の魅力創出事業	歴史性を活かした施設改修を進めている新江戸川公園をはじめ、周囲の文化・観光施設等と連携し、目白台・関口地域の観光客誘致施策を進めます。
まち並みウォッチング	まちあるきにより、身近なまちの景色の中にある史跡、緑、坂など、文京区らしい景観を見つけます。
文 <small>ふみ</small> の京 <small>みやこ</small> 都市景観賞	優れた景観づくりに貢献している建物や広告物、まち並みなどを一般の方々から広く募集し、都市景観賞として表彰しています。

### ■今後実施を検討する内容

- ・展望ラウンジ観光拠点化  
シビックセンター25階の展望ラウンジという区の魅力的な施設の新たな活用方法を見出し、観光スポットとしてのプレゼンスを向上させます。

## ② 「文の京」ならではの魅力向上・新たなストーリーの展開

- ・文京区のイメージと調和し、かつその魅力を高めるような観光資源を磨くことで、「文の京」ならではの魅力を高めます。
- ・既存の観光資源が伝統的・古典的なものに偏っていることを踏まえ、若者や外国人も関心を持ちやすく、魅力に気づきやすくするきっかけをつくります。
- ・多様な魅力を持った観光資源を組み合わせ、様々な楽しみ方ができるようにすることで、多くの人たちが自分たちなりにストーリーを読み込むための仕掛けづくりを行います。

### ■事業

事業名	概要
新江戸川公園の改修	旧熊本藩細川家の大名庭園であった新江戸川公園を、歴史性を活かした施設改修を行います。
歴史的建造物活用事業	旧伊勢屋質店については、土・日曜日等に建物の内部公開を行いながら、周辺の観光・まちあるき情報などを提供します。
文の京ゆかりの文人支援事業	文京ゆかりの文人を顕彰し、もって地域と文化の振興を図るため、地域の民間団体等が行う事業の運営を補助します。
食の文京ブランド100選	「食の文京ブランド100選」実行委員会で、区民他から公募により魅力ある区内の食の名店を選定し、多言語のリーフレット、ホームページ等を通じてPRします。
文人銘菓	区内の菓子店に協力をいただき、文京区ゆかりの代表的な文人たちにちなんだお菓子を創作していただき、文京区の土産品として販売しています。
新江戸川公園周辺の魅力創出事業	再掲

### ③ 区内の回遊性を向上させる誘導の環境づくり

- ・区内に点在する観光資源を歩いてめぐる「まちあるき観光」を活性化するため、若者や外国人の視点も交え、まちあるき観光ルートを開発します。
- ・観光スポットやおすすめのコースはもとより、Bーぐるやレンタサイクルなどの交通手段、食事や休憩できる場所、お手洗いなどの情報を盛り込むなど、まちを歩く人にとって役に立つガイドマップの充実を図ります。
- ・外国人や初めて文京区を訪れる観光客が必要な情報を適宜収集できる環境を整え、スムーズなまち歩きを支援します。
- ・交通手段の充実を図ります。

#### ■事業

事業名	概要
観光リーフレット作成	区内観光案内及び名所・旧跡を紹介する日本語版及び外国語版のリーフレットを作成し、積極的に観光客を誘致します。
コミュニティバス運行事業	コミュニティバスを運行し、区民等の利便性向上や地域の魅力・活力を引き出します。
区内統一案内標識整備	区内に設置されている多種多様な案内標識を整理・集約し、案内サービスの向上や景観に配慮した標識を整備します。
文 <small>ふみ</small> の京 <small>みやこ</small> ミュージアムネットワーク	区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文 <small>ふみ</small> の京 <small>みやこ</small> ミュージアムネットワーク」(文京ミュージズネット)として連携し、各施設の特色や個性を発信します。

#### ■今後実施を検討する内容

- ・Wi-Fi環境整備
- ・コミュニティサイクル事業
- ・隣接区や共通の観光資源を有する自治体と連携して、新たなストーリーの展開や観光ルート開発に努めます。

#### ④ 文京区の魅力や個性を伝える仕組みづくり

- ・パンフレットやポスター、ガイドマップなど、魅力的な広報物を発行し、多くの人の目に留まり、実際に手に取ってもらえる場所で効果的に配布することで、文京区の魅力・個性を周知します。
- ・区内に訪れる方への情報提供にあたっては、区内大学や企業、民間施設などと連携を図り、情報を届け、より長い時間、区内で過ごしてもらおうことを目指します。

#### ■事業

事業名	概要
観光インフォメーション	シビックセンター1階で、文京区の観光に関する情報提供や案内を行います。
観光PRポスター作成	観光PRポスターを作成し区外の地下鉄駅や東京シティアイ等に掲出することで、区内への観光客誘致及び区のイメージアップを図ります。
観光リーフレット	再掲
観光ボランティアガイド事業	再掲
食の文京ブランド100選	再掲

#### ■今後実施を検討する内容

- ・観光協会ホームページ改修支援  
文京区観光協会のホームページをリニューアルし、これまでになかった区の各種イベント等の情報を一元化した発信媒体をつくり、区の魅力を発信する。

## 2. 情報の収集・活用による来訪の促進

効果的な観光施策を講じるためには、観光客のニーズや満足度、さらには訪問先や動線などの実態を把握することが必要です。さらに、区外の人たちの文京区に対するイメージや期待を把握することは、効果的な情報発信のあり方のみならず、イメージ戦略や打ち出すべき価値を考える上での参考となります。このような観光客の実態や本区に対するイメージの把握に努め、効果的な観光振興を進めることで、より多くの人たちが本区を訪れるようながします。

一方、本区には、大学や企業、民間のアミューズメント施設が多数あり、日々開催されるコンベンションやイベントに多くの人たちが集っています。区内を移動する人も含め、本区を訪れる人に対して、文京区の観光情報を提供することで、区内での滞在・回遊をうながす仕掛けづくりにも取り組みます。

### ① 区内外における文京区の観光ニーズの把握

- ・観光客のニーズや満足度、区外における文京区のイメージ等を適切に把握することで、本区が打ち出すべき魅力や価値を認識し、効果的な観光振興を図ります。
- ・観光客の行動や周遊ルートを把握し、それを意識したガイドマップや情報発信に努めます。

### ■事業

事業名	概要
国内交流事業	他自治体との文化、観光、商業等に関する交流や様々な情報発信を通じて、互いの地域の活性化を図るとともに、魅力を高め合います。
観光インフォメーション	再掲
観光ボランティアガイド事業	再掲

### ■今後実施を検討する内容

- ・国や都の実施した様々な調査データを活用・分析するとともに、区独自の調査を実施することで観光客のニーズや満足度を把握していきます。

## ② 文京区の地域ブランド力向上

- ・これまで本区が築いてきた歴史・文学・伝統といった魅力を継続して発信し、「文の京」<sup>ふみ みやこ</sup>という名にふさわしいイメージを持続します。
- ・観光客の実態やインターネット上の口コミの分析・把握や、若者や外国人などの「外の目」と住民の「地元の目」から区の魅力を見直すことで、これまでは取り上げてこなかった観光資源を発掘し、「文の京」<sup>ふみ みやこ</sup>の新しい一面を発信していきます。
- ・これまでのイメージと、新しいイメージを組み合わせることで文京区の地域ブランドを、これまで以上に高めることに努めます。商店街や企業、大学などと連携し、地域ブランドの周知と向上を図ります。

### ■事業

事業名	概要
文の京 <sup>ふみ みやこ</sup> ゆかりの文人支援事業	再掲
文人銘菓	再掲
歴史的建築物活用事業	再掲

### ■今後実施を検討する内容

- ・土産品開発  
国内外からの観光客に対し推奨できる土産品の選定や、「文の京」<sup>ふみ みやこ</sup>にふさわしい新たな観光土産品を開発し、PRしていきます。
- ・東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、日本サッカー協会や東京ドーム、講道館等のスポーツ拠点や、ラクア等のレジャー施設に関する情報発信を積極的に行い、文京区の新たなブランドイメージを構築していきます。
- ・民間が実施するイメージ調査や自治体ランキング等の結果を活用し、区内外に文京区の良さを発信し、ブランド構築に努めていきます。
- ・展望ラウンジ観光拠点化（再掲）

### ③ 効果的な双方向の情報発信

- ・インターネットを通じた情報発信に際しては、観光協会の公式サイトを基礎としつつ、情報が共有・拡散されやすいSNSなどのウェブサービスを活用し、効果的な情報の発信・収集に努めます。
- ・情報発信に当たっては、区内大学、企業、NPOなどとも積極的に連携し、より幅広い層に情報が届くよう工夫していきます。
- ・報道機関等の強い発信力を持つ媒体に対し、観光に関連する情報を積極的に提供し、効果的な情報発信につなげていきます。

#### ■事業

事業名	概要
ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等により、生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を発信します。
パブリシティ	区内の様々な観光資源に関する情報をメディアに情報提供し、PR効果を向上させる工夫を行います。
フィルムコミッション	映像製作者を積極的に誘致し、ロケーション撮影を行うことで、メディアを活用した区の情報発信を行い知名度の向上を図るとともに、ロケ地見学などの観光客を誘致し観光振興を図ります。

#### ■今後実施を検討する内容

- ・インスタグラム等、現在区が行っていないSNSの活用も視野に入れ、情報発信を充実させていきます。
- ・観光協会ホームページ改修支援(再掲)

#### ④ 活気ある交流のための仕組みづくり

- ・区内の大学や企業、民間アミューズメント施設を訪れる人に着目し、区全体がMICE・アフターコンベンション機能を有するととらえます。
- ・日々、多くの人を訪れる施設・機関と連携し、文京区の観光情報を提供することで、文京区に関心を持ってもらう機会とするとともに、区内での滞在・回遊をうながします。
- ・区内の飲食店をはじめとする事業者と協働し、受入環境を整えることで、区内で滞在・回遊する先としての魅力を高めます。

#### ■事業

事業名	概要
花の五大まつり等助成	文京花の五大まつり、朝顔・ほおずき市、根津・千駄木下町まつりの広告・宣伝経費等の補助を行い、まつりの振興と発展を図ります。
英語観光ボランティア	文京区内の庭園、寺社、文化施設等を英語観光ボランティアガイドが外国人の方に英語で案内をして、区の歴史や魅力を紹介します。
広域連携事業	隣接区や共通の観光資源を有する自治体と相互に連携し、文京区というエリアにとられない広域的な観光振興を行います。

#### ■今後実施を検討する内容

- ・飲食店のメニュー多言語化
- ・飲食店のハラール対応
- ・公衆無線LAN(Wi-Fi)環境整備(再掲)



### 3. 持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり

本区では、住宅街に観光資源が点在しているため、観光振興にあたっては区民の暮らしと観光の調和を図る必要があります。そこで、観光客にマナーやルールを周知するとともに、住民が観光に対して前向きになることも大切です。

そのためには観光振興によってもたらされる文化的価値の高まりや経済的メリットを実感できるきっかけをつくる必要があります。その取組を重ねるなかで、区民と観光客の真の共存が実現し、区民のホスピタリティ醸成にもつながります。

また、区内事業者や観光事業者と連携した事業展開やバリアフリー等、観光客にとってやさしい環境づくりは、継続的な観光振興を図る上で大切です。多様な主体と連携し、環境整備を行うことで、継続的な観光振興のための仕組みづくりに努めていきます。

#### ① 観光を通じた区内外のネットワーク環境の構築

- ・区内事業者や観光事業者と連携することで、観光商品の開発や受入体制の整備などに取り組み、観光まちづくりを進めます。
- ・国内外から東京を訪れる観光客は行政単位で行動しないため、東京都、近隣自治体等と連携した観光振興を検討します。
- ・東京オリンピック・パラリンピックに向けて、文京区や地元のことを紹介できる区民を増やし、多くの人が観光に携わることを目指します。

#### ■事業

事業名	概要
観光協会振興助成	文京区観光協会の事業経費等の補助を行い、観光振興の発展と地域の活性化を図ります。
観光ボランティアガイド事業	再掲
広域連携事業	再掲
新江戸川公園周辺の魅力創出事業	再掲
国内交流事業	再掲

- ・隣接区と連携した文化資源マップの製作(再掲)

隣接区や共通の観光資源を有する自治体と連携して、新たなストーリーの展開や観光ルート開発に努めます。

## ② 安全・安心でやさしいまちを実現する環境づくりの推進

- ・バリアフリー化や案内標識の多言語化は、障害者や高齢者、外国人旅行者が、快適に観光を楽しむために重要なことです。また、子ども連れでもまちあるきが楽しめるような配慮も必要です。
- ・外国人旅行者に対しては、宗教や文化における差異を踏まえたサービスが必要となります。東京オリンピック・パラリンピックを機として増加が見込まれる外国人観光客の受け入れのためにも、飲食店をはじめとする区内商業者と連携し、対応します。
- ・災害等の緊急時に観光客に対して適切な情報提供ができるよう、伝達手段を整備することに加え、区内の商業者・事業者などによる人的な対応のあり方も検討します。

### ■事業

事業名	概要
バリアフリーの推進	文京区バリアフリー基本構想に基づき、高齢者、障害者や外国人観光客等が安全・快適に過ごせるよう、公共施設、スポーツ施設等及びそれらをつなぐ道路等のバリアフリーを進めます。
区内統一案内標識整備	再掲

### ■今後実施を検討する内容

- ・公衆トイレの洋式化
- ・バリアフリーに関する情報や多言語メニュー・ハラール対応等の飲食店の情報等を可能な限り観光リーフレット等に掲載し、文京区を訪れるすべての人が活用できる観光情報の提供に努めます。
- ・飲食店のメニュー多言語化(再掲)
- ・飲食店のハラール対応(再掲)

### ③ 観光まちづくりにおけるホスピタリティの醸成

- ・地域住民が安心して観光客を受け入れる土壌をつくるため、観光客のマナー向上に取り組んでいきます。
- ・住民が観光に対して前向きになれるよう、観光振興によって地域や区民にもたらされるメリット等についても情報を発信していきます。
- ・区民が外国人観光客を気軽に受け入れられるよう、区民と外国人が交流する機会を増やしていきます。

#### ■事業

事業名	概要
外国人おもてなし隊育成事業	東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、区を訪れる外国人が安心して観光等できるよう、英会話初心者の方を対象に、語学ボランティア育成事業を実施します。
国際交流フェスタ	区内等の各主体の協力を得て、伝統文化体験や各国情報紹介、ステージや物販のあるフェスタを実施し、外国人と日本人の文化を通じた交流及び相互理解を図ります。
観光ボランティアガイド事業	再掲
英語観光ボランティア	再掲

#### ■今後実施を検討する内容

- ・観光スポット周辺の観光案内版等にマナー啓発に関する内容を記載するなど、観光客の意識啓発・注意喚起に取り組んでいきます。
- ・区民自身が、文京区や地元の魅力や個性に気づき、愛着を持てるよう、文京区をテーマとした生涯学習講座や検定試験の実施などを検討します。
- ・観光協会ホームページ改修の支援（再掲）

## 5. 国際交流

### (1) 施策体系

分野別目標	基本的な方向性
1. 国際理解を育む機会づくり	(1) 交流の機会の拡充
	(2) 海外都市との交流の活性化
	(3) 国際理解に向けた情報の収集・発信・共有
2. 外国人が快適に過ごせる環境づくり	(1) 区の資源を活用した、歴史文化等への理解の推進
	(2) 外国人の生活・滞在に対する支援

### (2) 現状と課題

本区には、平成27年(2015年)1月1日現在、95カ国7,696人が外国人登録をしています。前回のアカデミー推進計画が策定された5年前に比べ、約5%増加し、区民全体の3.7%を占めています。特に、留学資格の外国人が多く、外国人研究者と合わせると約2,800人が、大学や研究等にかかわる外国人であるなどの特徴があります。この特徴は、平成32年(2020年)に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会や、それを見据えた東京都の長期ビジョンや都市外交基本戦略に謳われているグローバル都市東京に向けた取組を通じて、今後より一層強まるものと予想されます。また交流も自然と増えて行くことも予想されます。

そのなかにあって、国の垣根を越えた交流を活性化し、そして充実したものとし、区民の国際理解を育み、深めることは、日本人と外国人を問わず過ごしやすいまちをつくることのみならず、文京区の魅力や歴史をふり返るきっかけとしても重要です。

これまでも本区では、区民の国際理解を進めるための生涯学習講座の開催はもとより、区民と外国人の文化交流を図る「国際交流フェスタ」を過去10年にわたって毎年開催してきました。また、区立小・中学校では外国語指導助手(ALT)を派遣するなど、子どもの頃から国際理解教育を行っています。

区内での事業のみならず、自治体としても国際交流に取り組んでおり、カイザースラウテルン市(ドイツ)との姉妹都市提携を結び、本計画期間中の平成30年(2018年)には30周年を迎えます。また、平成26年度からは独立行政法人国際協力機構(JICA)による草の根技術協力事業の一環として、イスタンブール市ベイオウル区(トルコ)における防災支援に取り組んでいます。

実態調査によると、約7割の人が外国人と日常的に交流をしていないなか、半数の人が外国人との交流機会を求めていることがわかりました。さらに、約6割の人が国際交流のための講座やイベントに参加したいと思っていることがわかりました。

このような区民の国際交流への意向を踏まえると、いま開催されている講座の内容はそれぞれ充実していますが、開催数を増やし、区民への機会提供に努めることが求められます。そのためには、アカデミー文京の生涯学習講座の一環として実施するほか、区内大学で開催されている各種の国際理解に関する講座との連携を図ることで、区独自に取り組める範囲

を超えた機会提供を行うことも必要だと言えます。また国際交流フェスタも開催回数や方法を工夫することで、交流の機会を増やすのみならず、質を深めることが求められます。

それと同時に、外国人との交流を促進する上では、言葉の壁や文化的な差異を気にして前向きになることができない区民がいることも想定し、バリアを取り払い、交流に向けた「マインド」(心持ち)を醸成することも大切です。そのためには、国際交流に取り組む区民やNPOなどの団体の活動を周知することで、交流の敷居を下げる必要があります。そして、何よりも、子どもの頃から学校や地域で外国人や異文化に触れる機会をつくることで、国際交流が当たり前のこととして受け入れられる区民へと育つ助けを行うことも重要です。東京オリンピック・パラリンピック東京大会は、区民の国際交流への「マインド」を醸成し、交流をうながすために大いに活用すべき機会として重要ととらえることができます。

このような国際理解と国際交流の促進は、外国人の暮らしやすさ、過ごしやすさにつながるものと言えます。事実、実態調査においても、言葉を学ぶことと同程度に、相互の生活習慣や文化を学ぶことが必要だと認識されていることが結果として得られています。外国人の暮らしやすさ、過ごしやすさを向上するためには、多言語での生活案内や相談の受付など、具体的な支援も必要です。本区では、関係各課も含め、四か国語による外国語版生活便利帳やみんなで学ぶ防災対策を配布するほか、外国人観光客も視野に入れ、英語に対応した案内標識の統一化も進めています。ただ、外国人の多様なニーズに適切に応えることは容易ではなく、情報を必要とする外国人に適切に情報を届けるための工夫も必要です。

### 〈今後に向けた課題〉

- 区民の国際交流への意向を高めながら、それに応える機会の提供を区と区内の各主体が連携して取り組むことが必要です。
- 子どもの頃から外国人や異文化に接する機会をつくり、国際理解を育むことで、自然と外国人と交流できる区民として育つことを支援することが大切です。
- 外国人と日本人が交流することで、国籍や出自にかかわらず、暮らしやすく、過ごしやすいまちをつくることが求められます。
- 外国人が暮らしにくさ・過ごしにくさを感じないよう、ニーズを踏まえた具体的な支援を継続して行うことが求められます。

## (3)基本的な考え方

---

国際交流は、日本人が外国人との交流を通じて異なる文化に触れることで国際理解を育むものであるとともに、外国人が日本のことを知る機会でもあります。日本人と外国人が交流し、相互理解を深めることは、だれもが学びと交流を楽しむまちづくりにおいて、国という壁を取り除くための実践的な取組としてとらえられます。そして、相互理解は、学びと交流を超えて、日本人と外国人がともに暮らしやすく、過ごしやすいまちづくりへとつながるものです。

同時に、国際交流は、外国の文化を知ることを通じて文京区の魅力を再認識する機会でもあります。国籍を問わず暮らしやすく、過ごしやすいまちを実現するとともに、区の魅力を高める交流を進めます。

## (4)国際交流分野の目標と基本的方向

### 1. 国際理解を育む機会づくり

区民と外国人がともに住み、交流を楽しむためには、それぞれにおける国際理解が求められます。そのためには、外国語の学習や異文化体験といった生涯学習事業に取り組むことと併せて、実際に交流する機会を持つことも大切でしょう。さらに、そのような機会を区民が利用するためには、そもそも交流のバリアを取り払い、「マインド」醸成や動機づけを行う必要があります。

国際理解に向けた交流をうながし、そこで育まれた国際理解に基づいて、さらなる交流を生み出すため、交流の機会の充実や、そのための情報の収集・共有・発信を進めます。

一方、本区の強みを活かし、相互にメリットのあるかたちで海外都市との交流を進めます。その交流のなかで、生涯学習事業や交流事業への展開を図り、区民の国際理解の機会につなげるよう努めます。

#### ① 交流の機会の拡充

- ・長年実施している国際交流フェスタなど、区民と外国人が交流するための事業を実施することで、相互理解を深めます。
- ・区内大学に通う多くの留学生を中心に在住外国人が、地元の住民と交流する機会を設け、相互の住みやすさを向上します。
- ・言葉の壁を気にせず交流できる機会や場を設けるなど、外国人との交流のバリアを下げるための取組をしながら、同時に、外国人との交流に向けた動機づけとなる事業を通じて、国際交流の「マインド」を醸成します。
- ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会を、区民の国際交流の好機ととらえ、学校教育とも連携しながら、子どもから大人まで幅広く交流できる機会を設けることで、国際交流の「マインド」を高めます。

#### ■事業

事業名	概要
国際交流フェスタ	区内等の各主体の協力を得て、伝統文化体験や各国情報紹介、ステージや物販のあるフェスタを実施し、外国人と日本人の文化を通じた交流及び相互理解を図ります。
地域連携活動事業	地域の行事や団体と連携して、外国人の方が日本の文化体験や日本人との交流を通じて、日本人や日本文化を理解できる環境づくりを行います。
国際理解教育の推進	全小中学校の全学年にALT(外国人英語指導員)を派遣して、進展する国際化に対応する教育を行います。

### ■今後実施を検討する内容

- ・日本語による交流機会の提供
- ・留学生との交流機会の提供
- ・子どもへの交流機会の提供

## ② 海外都市との交流の活性化

- ・平成30年に提携30周年を迎える姉妹都市のカイザースラウテルン市や、新たに友好都市となったイスタンブール市ベイオウル区との交流をさらに深め、活性化していきます。
- ・イスタンブール市ベイオウル区との交流のように、本区の強みを生かし特定分野における連携から始める交流は、今後の自治体間交流のあり方として積極的に考え、機会をとらえて交流を広げること検討します。
- ・海外都市との交流について、取組状況を区民にも周知し、関心を持ってもらうようにします。そのなかで、区民が参加できる事業への展開も図ります。

### ■事業

事業名	概要
姉妹都市等との交流	カイザースラウテルン市やベイオウル区については、公式訪問団の派遣・受け入れだけでなく、さらに交流を推進するための新たな手法を検討してきます。
海外都市との交流の活性化	これまで交流のなかった新たな都市も含めて、機会をとらえて積極的に海外都市との交流を行い、友好を深めるとともに、行政間の交流を区民にも広げ、さらに活性化させるよう取り組みます。
ホームステイ生徒交換事業	姉妹都市交流の一環として、隔年で中学生、高校生の派遣受け入れを実施しています。姉妹都市での生活体験を通じて、市民交流を図り、異文化理解を推進します。
カイザースラウテルン市長杯文京区少年サッカー大会	姉妹都市提携のカイザースラウテルン市が2006年のワールドカップドイツ大会で開催都市となったことを記念し、平成16年より大会を実施しています。

### ■今後実施を検討する内容

- ・海外都市訪問ツアー  
海外交流都市との市民交流を一層促進するために、希望する区民がそれらの都市を訪問できるツアーの実施を検討していきます。
- ・新たな海外都市との交流(アジア諸国や英語圏の都市など)
- ・カイザースラウテルン市との姉妹都市提携30周年記念事業

### ③ 国際理解に向けた情報の収集・発信・共有

- ・国際理解のための生涯学習事業や外国人との交流の機会を周知することで、国際交流に意欲的な区民が参加しやすくするとともに、広く区民の関心を高めます。
- ・実際に国際交流に取り組む区民やNPOなどのグループに関する情報を発信・共有することで、区民レベルでの国際交流を見える化し、交流に対するハードルを下げることを図ります。
- ・海外経験のある区民をボランティアに募るなど、子どもの国際交流や留学生と地元住民の交流をサポートする区民と連携することで、幅広く行きわたる交流分野への取組を検討します。

#### ■事業

事業名	概要
区報、生活情報誌、CATVによる情報提供とホームページ、SNS等による情報発信	区報ぶんきょうや、わたしの便利帳による生涯学習関連情報に加え、CATV番組、ホームページ、SNS等により、国際交流関連情報を発信していきます。
生涯学習講座での国際理解推進	財団法人文京アカデミーの実施するアカデミア講座において、語学、外国文化、歴史をテーマにした各種の講座を開催することで、幅広い国際理解の機会を提供していきます。
区内大学、ボランティア団体等との協働・連携	「外国人のための専門家相談会」の共催をはじめ、区内の大学や団体の実施する事業を後援等することで、情報を広く発信していきます。
地域連携活動事業	再掲

#### ■今後実施を検討する内容

- ・東京大学目白台国際宿舎(仮)等、区内の関係機関との連携



## 2. 外国人が快適に過ごせる環境づくり

国際交流と、それを通じた国際理解の向上は、区民と外国人がともに住みやすいまちづくりにつながるものです。しかし、外国人が住みやすいと思えるためには、日本の文化や風習を理解するとともに、生活上の具体的な支援も必要となります。外国人区民や区内大学に通う留学生が、住みやすいと感じ、ひいては文京区での暮らしを楽しむことができるよう、必要としている人に届く情報提供や支援はもとより、区内の歴史・文化資源と接し、理解する機会などの生涯学習事業を展開します。

さらに、アカデミー推進計画が観光分野を有し、かつ区外から訪れた人も豊かな時間を過ごすことを目標としていることから、文京区を訪れる外国人観光客も快適に過ごすことのできる配慮が求められます。多言語での対応はもとより、文化的な背景を踏まえたサービスや外国人を快く受け入れる住民の「マインド」の醸成に努めます。

### ① 区の資源を活用した、歴史文化等への理解の推進

- ・文化芸術や観光に関する資源を活用し、外国人がそれらに触れられる事業を実施することで、外国人が日本の歴史や文化を理解する機会をつくります。
- ・区内大学や各種団体等と連携し、留学生を中心とする外国人が区民と交流しながら日本の文化や歴史に触れる機会をつくることで、より豊かな暮らしを送る手助けをします。
- ・外国人観光客が自分とのつながりを感じられるような紹介を行うなど、日本の文化や歴史に深く接することができるように努めます。

#### ■事業

事業名	概要
英語観光ボランティア	文京区内の庭園、寺社、文化施設等を英語観光ボランティアガイドが外国人の方に英語で案内をして、区の歴史や魅力を紹介します。
文京区紹介映像DVD 多言語版	タイトル「ようこそ文の京(ふみのみやこ)へ」約12分 英語、中国語、ハングルを作成し、ホームページでも公開しています。
地域連携活動事業	再掲
観光リーフレット作成	再掲
食の文京ブランド100 選	再掲

## ② 外国人の生活・滞在に対する支援

- ・区のホームページや区役所窓口での多言語対応の充実に努めます。
- ・情報を必要としている外国人の立場に立ち、情報を必要とする人に対して、適切な情報をわかりやすく提供するとともに、よりよい情報発信・提供のあり方を継続的に検討することで、サービスの向上を図ります。
- ・国際理解を進め、区のみならず、区民自らが困っている外国人に自ら手をさしのべるようなまちを目指します。
- ・外国人住民ならびに外国人旅行者に対する緊急時の情報提供の手段について検討するとともに、外国人と垣根なく交流できる区民を育て、外国人と居合わせた区民が情報提供するような人的対応の可能性も検討します。

### ■事業

事業名	概要
外国人の日常生活支援のための多言語化	東京大学との官学連携行政文書多言語化サポート事業を活用し、区役所の行政文書等の多言語化を進めます。
わかりやすいまちの表示	案内標識やコミュニティバス「Bーぐる」、区有施設における多言語表記を進めます。
防災対策での多言語対応	避難所プレートや防災啓発パンフレット等の多言語化、災害時専門ボランティアの通訳ボランティアの登録推進等により、防災対策における多言語対応を進めます。
通訳クラウドサービス活用による外国人相談等	通訳クラウドサービスを活用し、区民相談員が外国人相談を行います。また、区役所内において、同端末を利用し、行政サービスの案内を行います。
庁内留学 in Bunkyo	TOEICの受験を研修に盛り込み、TOEIC600点以上の取得者及び既存で英会話可能な職員をEnglish Navigatorとして配置し、外国人来庁者への中心的役割を果たしていきます。
図書館における外国語の新聞・雑誌の提供	区立図書館で、英語、中国語、ハングルなどの新聞、雑誌、外国語図書を購入して、閲覧や貸出しに応じています。
観光リーフレット作成	再掲
食の文京ブランド100選	再掲

■ 今後実施を検討する内容

- ・飲食店メニューの多言語化やハラール対応の促進
- ・公衆トイレの洋式化
- ・オリンピック・パラリンピックに向けた都市ボランティア等の育成

## 第四章 横断的施策

横断的施策とは、生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光・国際交流の5つの分野において共通して取り組まれるべきテーマや課題です。分野間での連携した取組も横断的施策に該当しますが、個々の分野での取組も共通するテーマや課題を持つものもあります。

本計画では、「環境形成」「人づくり」「つながりの構築」「価値の協創」という4つの基本目標に照らし、横断的施策として、「情報の収集・共有・発信」「人材育成」という2つの課題に加え、この5年間に於いて社会的なインパクトをもたらすであろう東京オリンピック・パラリンピックを掲げます。

### 1. 情報の収集・共有・発信

前回のアカデミー推進計画においても、事業や活動のための情報を、適切なメディアでわかりやすく伝えることは重視されてきました。ただ、過去5年間に於いて、情報環境・メディア環境は変化しています。なかでも、スマートフォンの普及、それと並行したSNSの登場が特筆されます。これらの登場とともに、情報の発信者が多層化し、相互に情報が共有されることで情報が拡散されるような網目が形成されています。そして、今後もこのような変化は起こるものだと考えられます。

そこで、広報誌やチラシ、ポスターなどを用いた従来の情報発信も継続させつつ、適宜変化する情報環境・メディア環境をとらえ、効果的な情報発信のために適切なメディア活用を図ります。

一方、情報発信のためには、情報の収集が欠かせません。本区がすでに把握している様々な資源のほか、区内に潜在する人・団体・活動・場所など、本計画の理念・目的に沿ったあらゆる資源を収集し、それらを区内ならびに区民と共有することを図ります。

#### ■情報の収集・共有・発信に関連する事業

事業名	概要	分野
区報、生活情報誌等による情報発信	区報ぶんきょうや、わたしの便利帳による生涯学習、スポーツ、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光・国際交流
ホームページ・SNS等による情報発信	区や指定管理者のホームページ・SNS等により生涯学習、スポーツ、文化芸術、観光、国際交流関連情報を発信します。	生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光・国際交流
CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光・国際交流

事業名	概要	分野
施設予約ネットシステム	利用者サービス及び操作性向上の機能を持った予約ねっとシステムの活用により施設利用者へのさらなる利便性の向上及び業務・施設管理等の事務管理等の事務処理の一層の効率化を図ります。	生涯学習・スポーツ・文化芸術
図書館での情報発信	子どもの読書活動の重要性や意識について広く理解を得るために、ホームページ上に子ども・中高生向けのページを設置し、情報を発信します。	生涯学習
スポーツ交流ひろば通信の発行	スポーツ交流ひろばの指導者に向け、スポーツ振興に関する情報等を発信します。	スポーツ
スポーツボランティア情報の発信	スポーツボランティアが地域の活動に参加しやすい環境をつくるため、スポーツボランティアに対し、各種情報を発信します。	スポーツ

## 2. 協働する人材の育成

アカデミー推進計画を着実に実現していくためには、区のみならず、区民や地域活動団体、NPO、大学、事業者などとの連携を図り、それぞれの強みを活かしながら取り組む必要があります。前回の計画においても、本区の『<sup>ふみ</sup>文の京<sup>みやこ</sup>』自治基本条例の掲げられた「協働・協治」に基づく連携の必要性が示されていました。その後、東日本大震災や「新たな公共の担い手」専門家会議などを経て、共同性や公共性が見直されるなか、住民協働をめぐる状況も変化してきました。

これを機として、「協働・協治」の理念に基づき、学びと交流という活動から、人と人とのつながりを生み出し、コミュニティへと展開するという段階を経ながら、徐々に他者や地域にかかわるようにうながし、協働する人づくりを進めます。

その際、これまでの地域文化インタープリターや生涯学習司、スポーツ指導者、観光ボランティアガイドなどの人材制度を継続的に運用しつつ、東京オリンピック・パラリンピックをきっかけとして、多言語対応や障害者対応などを推進することを検討します。

### ■協働する人材の育成に関連する事業

事業名	概要	分野
区民プロデュース講座	区民の学習成果を活かし、地域に根差した生涯学習を推進するため、個人・NPO等団体が企画運営する講座を公募して実施します。	生涯学習
人材育成のための講座開催	区・公益財団等と協働して事業を行う人材を育成するため、「 <sup>ふみ</sup> 文の京 <sup>みやこ</sup> 生涯学習司」、「 <sup>ふみ</sup> 文の京 <sup>みやこ</sup> 地域文化インタープリター」「文京アカデミアサポーター」の3つの養成講座を実施します。	生涯学習・文化芸術
各種講座・展示会の企画実施への登用	インタープリターや生涯学習司等の人材を活用し、区の文化事業に生かしていく事業(企画展等)を展開して行きます。	文化芸術
スポーツ推進委員・スポーツリーダー等の活用	地域の生涯スポーツ・レクリエーション等の普及・振興及び区民の自主的なスポーツ活動を支援するため、スポーツ推進委員やスポーツリーダー等を活用します。	スポーツ
スポーツ指導者の育成	スポーツ指導者の資質向上を図るため、スポーツ推進委員、スポーツリーダー、スポーツ交流ひろばの指導員等を対象に各種研修会を実施します。	スポーツ
障害者スポーツ指導者資格取得の支援	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導者資格を取得するための費用を助成します。	スポーツ

事業名	概要	分野
スポーツボランティアの養成	地域の生涯スポーツ・レクリエーションの振興を推進するため、支えるスポーツの担い手として、スポーツボランティアを登録・養成・派遣します。	スポーツ
社会教育登録団体登録制度による活動支援	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援します。	生涯学習・スポーツ・文化芸術
サークル連絡会の支援	文京区生涯学習サークル連絡会によって実施される公開講座、合同学習会、史跡・施設見学等の各種自主学習活動への支援を行います。	生涯学習・文化芸術
ふるさと歴史館友の会の支援	友の会の自主的な活動を支援し、地域の現状や歴史・文化を知るための学習機会の充実を図ります。協働による事業の実施や「文京まち案内」ボランティアガイドの活動支援を行います。	文化芸術
ふるさと歴史館常設展示解説ボランティア	解説ボランティアを養成し、来館者への案内を行うことにより、文京の歴史・文化の普及を図ります。ガイドのスキルアップを支援します。	文化芸術
森鷗外記念館解説ボランティア	解説ボランティアを養成し、自主的な活動を促進します。新たな活動を企画し、活動のブラッシュアップとともに、文京区の文学館としての機能強化を図ります。	文化芸術
技能意匠認定事業	ものづくりに携わっている技術者の社会的評価を高め、伝統技術、技法の維持向上と技術習得意欲の促進を図ります。技術者の地位向上と後継者を確保することにより、区内産業の振興及び発展を図ります。	文化芸術
観光ボランティアガイド事業	区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成し、まちあるきコースの開発と、案内を行います。	観光
英語観光ボランティア	文京区内の庭園、寺社、文化施設等を英語観光ボランティアガイドが外国人の方に英語で案内をして、区の歴史や魅力を紹介します。	観光・国際交流

事業名	概要	分野
外国人おもてなし 隊育成事業	東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、区を訪れる外国人が安心して観光等できるよう、英会話初心者の方を対象に、語学ボランティア育成事業を実施します。	観光・国際交流
国際交流フェスタ	区内等の各主体の協力を得て、伝統文化体験や各国情報紹介、ステージや物販のあるフェスタを実施し、外国人と日本人の文化を通じた交流及び相互理解を図ります。	文化芸術・観光・ 国際交流



### 3. 東京オリンピック・パラリンピック

平成32年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて、国や東京都はそれぞれに戦略を打ち出し、東京都の将来像が様々に描かれています。文京区においても、今後5年間、開催都市の一員として気運醸成を図り大会を成功に導くための取組を推進するため、平成27年2月に「文京区2020東京オリンピック・パラリンピック取組基本方針」を策定しました。

東京オリンピック・パラリンピックは、スポーツはもとより文化芸術、観光、国際交流に及んでおり、区民協働という観点では生涯学習も無縁ではなく、アカデミー推進計画と関係が深いものです。また、東京オリンピック・パラリンピックの開催期間には、本区の様々な魅力が外国人観光客を呼び寄せることも考えられます。

そこで本計画では、計画本来の基本理念や共通目標にかなった、将来にわたる「レガシー」を残すことを特に重視していきます。なお、推進にあたっては「取組基本方針」との整合を図っていきます。そして、東京オリンピック・パラリンピックを「きっかけ」のひとつとしてとらえ、本計画、ひいては生涯学習推進基本構想から約20年にわたって、区ならびに区民が蓄積してきた価値を活かし、新たな資源、新たな価値を得るための事業を、これまでと変わらず推進していきます。さらに、そこで生まれる新たな資源、新たな価値を、次のアカデミー推進計画へとつなげることを意識します。

分野	関連すると考えられるレガシー
生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア意欲の向上、参加者の増加</li> <li>・心のバリアフリーの向上</li> </ul>
スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの実施や観戦への動機づけ</li> <li>・パラリンピックを通じた障害者スポーツの普及・促進</li> <li>・スポーツ施設の整備・拡充</li> </ul>
文化芸術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統文化や食文化の理解</li> <li>・文化プログラムを通じた文化芸術への関心の喚起</li> </ul>
観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外からの観光客の増加</li> <li>・外国人にやさしいまちづくりの推進</li> <li>・観光ボランティアの育成と活躍</li> </ul>
国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流の活性化と国際理解の深化</li> <li>・多言語化の推進</li> <li>・海外や異文化への関心の喚起</li> <li>・外国人との交流に向けたマインドの醸成</li> </ul>

## ■東京オリンピック・パラリンピックに関連する事業

事業名	概要	分野
文京アカデミア講座	区民の学習を支援するため、地域、文学、歴史・社会、自然科学、芸術、くらし、語学、健康・スポーツなどバラエティに富んだ講座を提供します。 民間教育業者や大学に委託したもの、自主企画講座のほか、パソコン講座、魚のおろし方教室などがあります。	生涯学習
人材育成のための講座開催	区・公益財団等と協働して事業を行う人材を育成するため、「文京アカデミアサポーター」、「文の京生涯学習司」、「文の京地域文化インタープリター」の3つの養成講座を実施します。	生涯学習
スポーツ・パブリックビューイング	区民ひろばやシビックホールなどで、ワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックなどのパブリックビューイングを開催し、皆で観戦する楽しさを共有します。	スポーツ
障害者のスポーツ施設利用促進事業	障害のある方に地域のスポーツ施設を気軽に利用していただけるよう、都立障害者スポーツセンター指導員とともに、区立スポーツ施設での個人利用を体験していただきます。	スポーツ
障害者スポーツ教室	障害のある方が気軽にスポーツ活動に参加できる機会とし、様々な障害者スポーツの種目を体験できる教室を開催します。	スポーツ
スポーツセンターの改修	老朽化したスポーツセンターを改修し、バリアフリー化を含め、だれもが安全で快適にスポーツを楽しむことできる環境を整備します。	スポーツ
スポーツボランティアの養成	地域の生涯スポーツ・レクリエーションの振興を推進するため、支えるスポーツの担い手として、スポーツボランティアを登録・養成・派遣します。	スポーツ
初心者向けスポーツ教室	区民の健康維持増進及びスポーツを続けるきっかけづくりの機会として、区民が気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催します。	スポーツ
「文の京文化発信プロジェクト」	文京区らしさを生かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働(共催)により、特色を生かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。	文化芸術

事業名	概要	分野
人材育成のための講座開催	区・公益財団等と協働して事業を行う人材を育成するため、「文京アカデミアサポーター」、「文の京生涯学習司」、「文の京地域文化インタープリター」の3つの養成講座を実施します。	生涯学習
日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業	東京オリンピック・パラリンピックの開催の決定を踏まえ、伝統・文化に関する教育を推進します。日本の伝統文化について、講師の実演等を行い、日本の良さを発信することができる能力や態度を育成します。	文化芸術
観光ガイドマップの作成	文の京観光ガイドおさんぽくんの多言語版を英語、中国語、ハングルで発行しています。	観光
国際理解推進講座	大学、事業者、国際交流団体等と連携し、様々なテーマによる国際理解を進める講座を開催し、文京区の国際化を推進します。	国際交流
国際理解教育の推進	全小中学校の全学年に ALT(外国人英語指導員) を派遣して、進展する国際化に対応する教育を行います。	国際交流
区内大学、ボランティア団体等との協働・連携	「外国人のための専門家相談会」の共催をはじめ、区内の大学や団体の実施する事業を後援等することで、情報を広く発信していきます。	国際交流
英語観光ボランティア	文京区内の庭園、寺社、文化施設等を英語観光ボランティアガイドが外国人の方に英語で案内をして、区の歴史や魅力を紹介します。	国際交流
外国人おもてなし隊育成事業	東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、区を訪れる外国人が安心して観光等できるよう、英会話初心者の方を対象に、語学ボランティア育成事業を実施します。	観光・国際交流

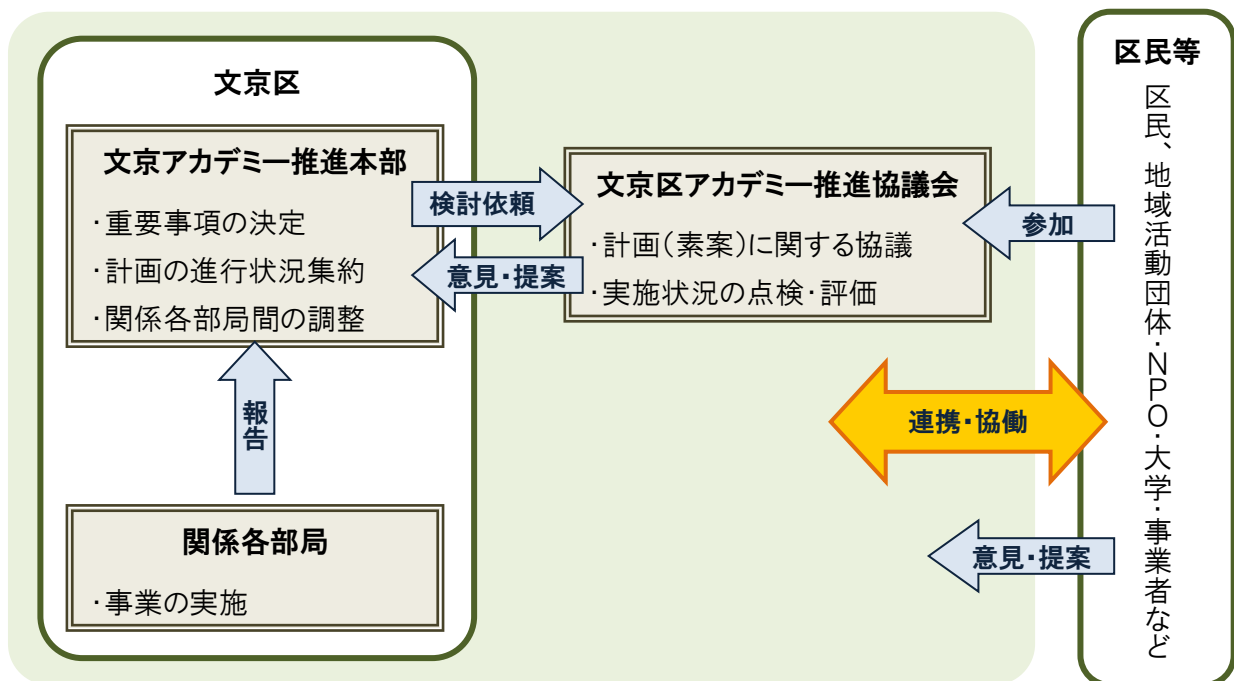
# 第五章 計画の推進体制と評価の考え方

## 1. 計画の推進体制

アカデミー推進計画は、区と区民等がともに「連携・協働」に基づき推進するためにも、庁内のみならず、区民等からなる体制による進捗管理と事業評価が求められます。

そこで、前回の計画にひきつづき、各種事業に取り組む庁内組織である「文京アカデミー推進本部」と、計画の進捗と事業評価を行う区民参画組織「文京区アカデミー推進協議会」からなる推進体制をとります。

「文京アカデミー推進本部」では、アカデミー推進部を中心として関連する各部局との連携・協力を充実させ、本計画に定めた各種活動の活性化のための施策・事業を総合的に推進していきます。一方、「文京区アカデミー推進協議会」では、毎年度区民目線で事業評価を行うことで、PDCAサイクルに基づく進行管理を行います。



## 2. 評価の考え方とPDCAサイクル

事業評価は、文京区アカデミー推進協議会において各分野の分科会を設け、毎年度実施します。

その評価を通じて、過年度の事業をふり返り、必要な見直しあるいは拡充を行うことで、次年度の事業の充実・発展につなげます(PDCAサイクル)。

